

令和6年度第2回盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会

日 時：令和7年1月29日（水）14時00分～15時00分

会 場：プラザおでって 3階大会議室

次 第

1 開会

2 挨拶

3 議事

- (1) 第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンへの新規事業の掲載について

資料1-1、1-2

- (2) 第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの改訂等について

資料2-1～2-4

- (3) 第1回懇談会での委員意見に対する取組状況について

資料3

- (4) 第3期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン策定スケジュールについて

資料4

4 その他

5 閉会

資料1-1 第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンへの新規事業の掲載について

資料1-2 事業調書（盛岡南地区物流拠点整備事業）

資料2-1 第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの改訂等について

資料2-2 都市圏ビジョン改訂案・抜粋

資料2-3 都市圏ビジョン事業一覧

資料2-4 都市圏ビジョン事業一覧（今後検討する事業）

資料3 第1回懇談会での委員意見に対する取組状況について

資料4 第3期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン策定スケジュールについて

令和6年度第2回盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会委員名簿

(敬称略)

氏 名	所属・役職等	出欠	備考
き 木 戸 章 子	宿はこや 女将	欠席	
さか もと 坂 本 誠 一	公益財団法人岩手県国際交流協会 常務理事	出席	座長
すが むら 菅 村 覚	岩手県情報サービス産業協会 幹事	出席	
すが わら 菅 原 紋 子	有限会社ファーム菅久 常務取締役	出席	
たて かわ 館 川 浩	インナーブランディング協会 代表	出席	
なかかるまい 中 軽 米 昭 彦	一般社団法人八幡平市観光協会 事務局長	欠席	副座長
なん ぶ 南 部 寛	盛岡商工会議所 産業振興部 部長	欠席	
は しば 羽 柴 郁 夫	岩手県農業協同組合中央会 参事	欠席	
もと だて 本 館 智 彰	株式会社北日本銀行 営業統括部 副部長	出席	
やく しげ 役 重 眞喜子	岩手県立大学総合政策学部 准教授	欠席	
やま もと 山 本 美喜子	滝沢市商工会 女性部 部長	出席	

※任期 令和6年2月～令和8年1月（2年間）

(オブザーバー)

構成団体名	職 名	氏 名
盛岡広域振興局	企画推進課長	吉 原 武 志

(首長懇談会専門部会)

部会	職 名	氏 名
人材育成	盛岡市 職員課長兼能力開発室長（部会長）	杉 田 一 盛
観光振興	盛岡市 観光課 課長補佐	塩 田 大 輔
施設共同利用	盛岡市 資産経営課長（部会長）	佐々木 俊 幸
	盛岡市 資産経営課 課長補佐	小 出 史 朗
地方創生連携	盛岡市 市長公室次長（部会長）	中 嶋 孝 樹
自然災害対策	盛岡市 危機管理防災課長（部会長）	新井田 昌 幸
	盛岡市 危機管理防災課 課長補佐	吉 田 圭 一

(説明員)

	職 名	氏 名
盛岡市	商工労働部主幹兼新産業拠点形成推進事務局主幹	小 向 克 典

(事務局)

	職 名	氏 名
盛岡市	市長公室長	藤 澤 法 輝
	市長公室次長	中 嶋 孝 樹
	企画調整課長	佐々木 潤 也
	企画調整課主幹兼課長補佐	牧 野 英 恵
	企画調整課 政策調整係長	中 村 由希子
	企画調整課 政策調整係 主査	平 澤 祐 子

第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンへの新規事業の掲載について

令和7年度から新たに広域で取り組む事業（事業名：盛岡南地区物流拠点整備事業）について、都市圏ビジョン（戦略3「暮らしの安心をつなぐ」）に追加する。

1 事業趣旨

本市は、東北縦貫自動車道に加え、地域高規格道路である一般国道106号宮古盛岡横断道路、盛岡貨物ターミナル駅等、交通環境等で優位性が高く、盛岡広域圏をはじめとした全県への波及効果が見込まれることから、新たな物流拠点整備の有力候補地として注目されており、令和2年度に実施した事業拠点分散化等動向調査、直接的な問合せ等における本市への立地を希望する物流事業者が相当数あるほか、業界団体、商工団体においても本市の優位性を最大限活用することへの期待が高まっている。

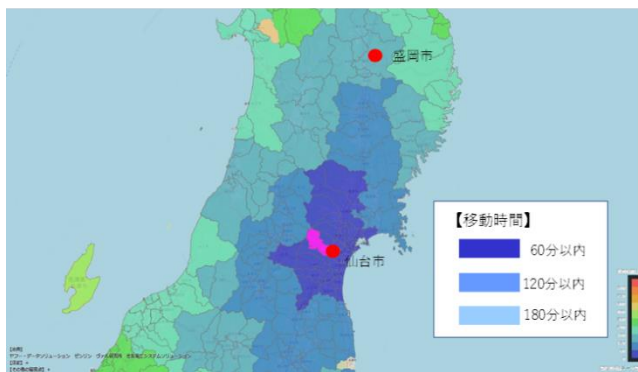
こうした状況に対応するべく、産業を下支えする基盤産業である物流機能の強化及び充実に本格的に取り組むことにより、物流事業者の立地需要に応え、産業全般のさらなる活性化を目指すとともに、盛岡広域圏をはじめとした企業誘致の推進及び新たな雇用の創出、EC市場を活用した圏域事業者の販路拡大の推進など、さらなる波及効果が見込まれる。

また、物流機能の充実により、生活必需品の安定供給が図られ、圏域全体の市民生活の維持向上にも寄与するほか、有事の際の支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時においても円滑かつ適時適切な支援物資の輸配送に資するものである。

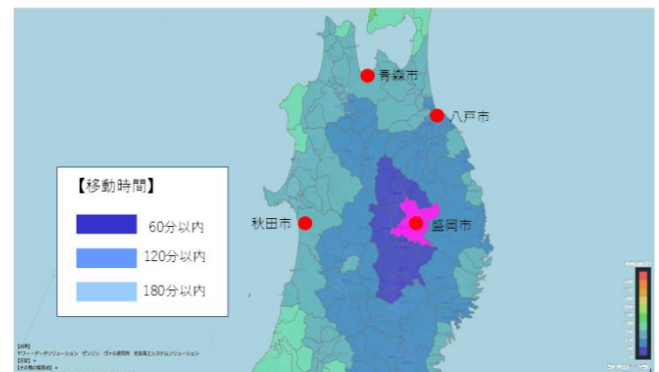
2 背景

平成30年6月に成立した「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により、トラックドライバーの時間外労働の上限規制が令和6年度から適用になることによるトラックドライバー不足とそれに起因する問題（いわゆる「2024年問題」）を契機とし、北東北主要都市への輸配送の拠点候補地として、盛岡市の注目が高まっている。

【仙台市からの移動時間】



【盛岡市からの移動時間】



出典：RESAS—地域経済分析システム「国内移動時間分析」

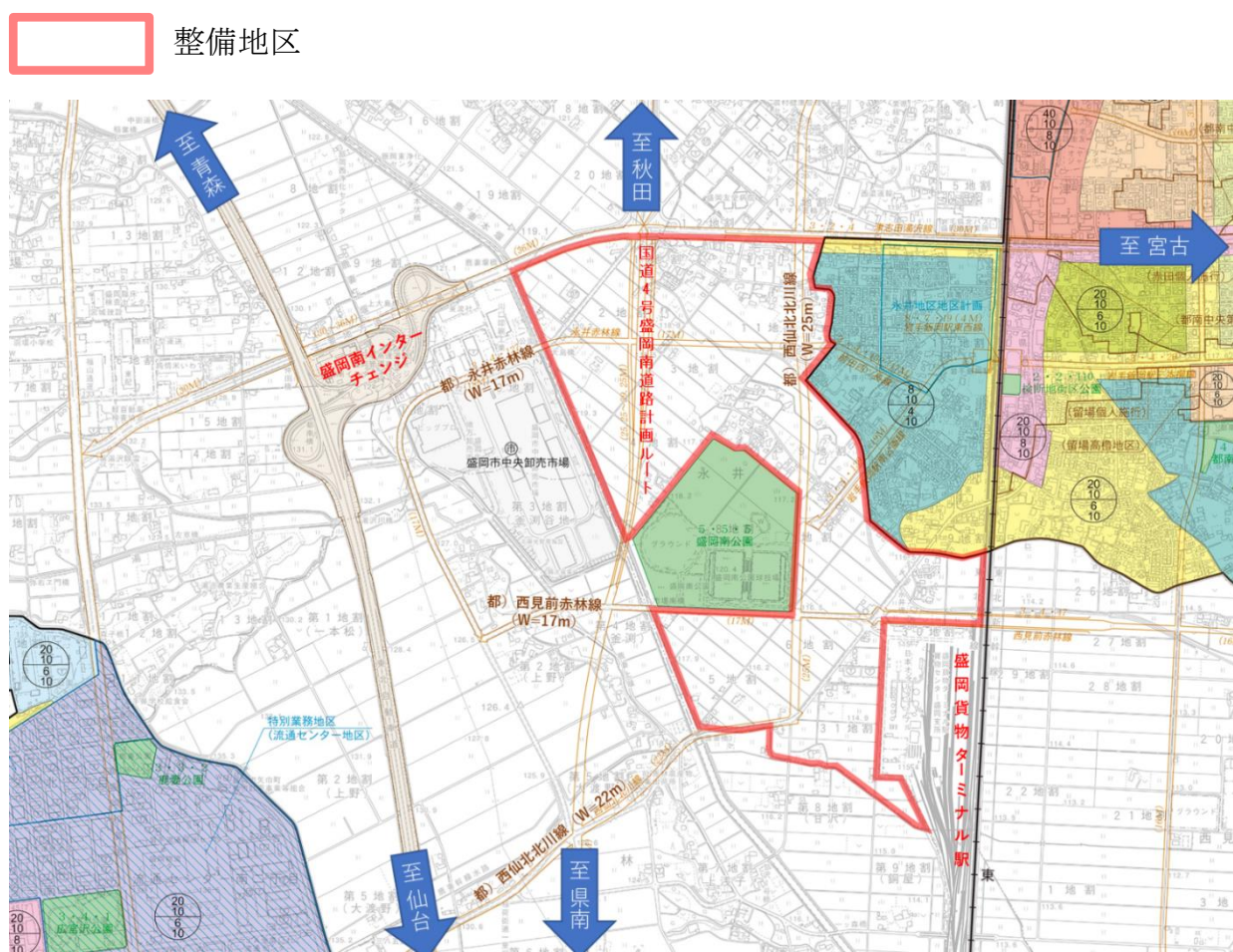
また、新型コロナウイルス感染症の影響により、EC 市場は世界的に拡大傾向にあることから、その立地や、大規模物流施設の集約化の需要が高まっている中、盛岡広域圏における競争力強化が急務であることなども背景に挙げられる。

3 事業内容（資料1－2）（事業調書）参照）

本事業では、盛岡市の南部に位置し、盛岡南インターチェンジ、盛岡貨物ターミナル駅、一般国道 46 号盛岡西バイパス及び盛岡市中央卸売市場に近接する盛岡市永井地区を、盛岡市及び民間事業者により土地開発・企業誘致を行うもの。

立地事業者は、輸送、保管、荷捌き、流通加工（物資の流通の過程における簡易な加工をいう。）、そのほかの物資の流通に係る業務（以下「物流事業」という。）の用に供する倉庫、事業所又は事務所（以下「物流施設」という。）において物流事業を行う者（以下「物流事業者」という。）又は物流事業者への賃貸を目的として物流施設の建設、維持管理等を行う者等に限定し、物流機能の集約による効率化を図る。

【整備地区 位置図】



4 事業費

総事業費 13,208 百万円（概算）

（インフラ整備に係るもののみ。造成後の土地売却等は民間事業者により実施。）

5 経済効果等

本事業の実施により整備された盛岡南地区物流拠点に、事業拠点分散化等動向調査等により把握した立地希望企業が盛岡市に立地・操業した場合の地域経済への波及効果について、次の通り試算した結果、広域圏における経済波及効果は 57,737 百万円、雇用誘発量は 5,445 人と試算された。

【試算方法】

岩手県が作成・公表している「経済波及効果簡易分析ツール（統合大分類）」を使用し、基礎数値である生産価格評価表及び雇用表を県央広域振興圏の数値（岩手県が作成・公表）に置き換えて試算しました。

また、このツールによる試算に必要な立地企業の生産額については、埼玉県が作成・公表している「企業立地に係る経済波及効果シミュレーションツール」を使用して試算しました。（建築着工統計調査データなど、地域によって数値が異なるものについては、調整のうえ使用）

上記の試算方法により試算された経済波及効果は、次表のとおり。

（単位：百万円）

波及効果	第一次波及効果			第二次 波及効果	総効果
	直接効果	間接効果	計		
生産誘発額	37,479	12,753	50,232	7,505	57,737
（波及効果倍率）※	—	0.3402	1.3402	0.2003	1.5405
うち粗付加価値誘発額	19,534	7,773	27,307	5,027	32,334
（波及効果倍率）	0.5212	0.2074	0.7286	0.1341	0.8627
うち雇用者所得誘発額	11,909	3,648	15,557	1,902	17,459
（波及効果倍率）	0.3177	0.0973	0.4151	0.0507	0.4658
雇用誘発量：人	—	—	4,973	472	5,445

※波及効果倍率：各項目の金額が直接効果額(37,479 百万円)に対してどれだけの倍率かを表しています。

6 広域圏における協力依頼

当該区域への物流事業者の立地により、周辺地域全体の雇用機会の確保等、広域市町全体における地域振興に関する機能強化が図られるほか、物流機能の強化・充実により EC 市場の拡大に順応した周辺企業の輸出促進や販路拡大による地域経済の活性化が図られることから、広域市町においては、当該区域への物流事業者等の企業誘致等による物流機能の集積・強化を図るため、企業情報の共有や、企業誘致情報発信の連携等による協力を依頼するもの。

なお、事業実施に要する費用負担は生じない。

7 スケジュール（予定）

年月	事業内容	連携都市圏ビジョン
令和5年12月	開発事業候補者の選定	
令和7年1月		・第3回盛岡広域首長懇談会事務検討会議 ・第2回盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
2月		第3回盛岡広域首長懇談会（ビジョン改訂）
令和7年度以降	都市計画法、農振法等による土地利用の変更等の手続 整備事業着手	

事業名	盛岡南地区物流拠点整備事業			事業期間	令和 7 年度	～	令和 7 年度	
担当課	新産業拠点形成推進事務局	担当係	—		担当者	石戸谷	電話	8135
事業実施関係市町名	全市町							
事業概要	東北縦貫自動車道、地域高規格道路一般国道106号宮古盛岡横断道路などの交通インフラや、脱炭素を目指したモーダルシフトやインランドデポ機能による輸出拡大が期待される盛岡貨物ターミナル駅により、交通環境等で優位性が高い盛岡南地区において、物流拠点の整備を行う。							
見込まれる成果	「物流の2024年問題」を契機とし、物流業界において急務とされる労働環境の改善や効率化・集約化による競争力強化に対応する新たな物流拠点を整備することで、物流事業者の立地需要に応え、企業誘致の推進及び新たな雇用の創出を図るほか、EC市場を活用した圏域事業者の販路拡大の推進など、圏域をはじめとした全県及び北東北への産業活性化の波及効果が見込まれる。 また、物流機能の充実により、今後深刻な課題となると懸念されるトラックドライバーの人手不足に対応することで、生活必需品の安定供給が図られ、圏域全体の市民生活の維持向上に寄与するほか、有事の際の支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時においても円滑かつ適時適切な支援物資の輸配送に資する。							

◆ 事業内容等

	実施する事務事業の内容	特定財源の名称と積算内訳	他の特別交付税算定調査項目名
R 6 年度	【盛岡市】 ・整備地区内の都市計画道路整備（交通量調査） 【開発を行う民間事業者】 ・土地利用変更手続きの着手 等	・まち・ひと・しごと創生基金繰入金 4,070千円	
R 7 年度	【盛岡市】 ・整備地区内の都市計画道路整備（詳細設計、測量、不動産鑑定評価） 【開発を行う民間事業者】 ・開発区域の詳細設計 ・開発区域に係る用地交渉 ・土地利用変更手続き	・地方創生道整備推進交付金 39,283千円 （R7当初15,954千円、R6繰越 23,329千円） ・まち・ひと・しごと創生基金繰入金 611千円	

◆ 役割分担

盛岡市	・民間事業者と連携し、都市計画道路等のインフラを含めた物流拠点の整備を行う。 ・物流拠点への企業誘致に向けた支援策等に取り組むとともに、広域的な調整を行う。
各市町	・物流拠点への企業誘致に向けた支援策等に協力して取り組む。

◆ 費用分担(事業計画)

(単位 千円)

	市町名	事業費	財源内訳					他の特別交付税 算定見込額
			国費	県費	地方債	その他	一般財源	
R 6 年 度	盛岡市	4,070	0	0	0	4,070	0	
	八幡平市							
	滝沢市							
	雫石町							
	葛巻町							
	岩手町							
	紫波町							
	矢巾町							
	小計	4,070	0	0	0	4,070	0	0
R 7 年 度	盛岡市	80,594	39,283	0	35,200	611	5,500	
	八幡平市							
	滝沢市							
	雫石町							
	葛巻町							
	岩手町							
	紫波町							
	矢巾町							
	小計	80,594	39,283	0	35,200	611	5,500	0
令和6年度・令和7年度 計		84,664	39,283	0	35,200	4,681	5,500	0

◆ 成果指標 (KPI)

指標		当初値	目標値(R7年度)
物流拠点への立地意向を示す事業者数	↑	0件	3件
出所・出典	盛岡市		

第 2 期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンの改訂等について

1 変更内容について（変更内容を反映したビジョン（改訂案）は資料 2 - 2 のとおり。）

- (1) 戦略 3 「暮らしの安心をつなぐ」に「盛岡南地区物流拠点整備事業」を追加する。
- (2) 各事業の「事業費見込み」を令和 6 年 11 月時点の見込みに、成果指標の「現状値」を令和 6 年 3 月以降の値に更新する。

※各事業の令和 5 年度末時点の実績値、令和 6 年 11 月末時点の実績値は資料 2 - 3 のとおり。

- (3) 連携事業の事業概要に変更があるものを更新する。

【主な変更箇所】

ページ	事業名	変更内容
P55	国際観光客誘致促進事業	連携事業の内容に合わせ、更新する。
P57	スポーツツーリズム推進事業	
P68	もりおか就職面談会等	
P69	震災対応事業	
P70	岩手県央へい獣処理協議会事業	
P72	盛岡広域移住・定住促進事業	
P73	電子入札等基盤整備事業	電子契約の試験的な導入の実施に向け、追記する。

- (4) 成果指標については修正を行わない。

2 今後検討する事業について

「今後検討する事業」として掲載している 8 事業については、資料 2 - 4 のとおり担当部局間において引き続き事業化に向けた検討を行う。

3 改訂スケジュール

日付	内容
令和 7 年 1 月 29 日	盛岡広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会において、改訂案に対する意見聴取
令和 7 年 2 月 14 日	盛岡広域首長懇談会において、改訂案を協議
令和 7 年 2 月中旬～ 3 月上旬	更新最終確認依頼（構成市町、盛岡市担当課）
令和 7 年 3 月下旬	みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン改訂

4 成果指標 (KPI)

本ビジョンにおける進捗管理に用いる成果指標(KPI)は、次のとおりとします。(指標名の後の矢印が「↑」は、数値を上げていくことを目標とするもの。「→」は現状を維持していくことを目標とするもの。「↓」は、数値を下げていくことを目標とするもの。)

戦略1 産業の営みをつなぐ(圏域全体の経済成長のけん引)

■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
農林業圏域内総生産額(↑)	3,744 千万円 (平成29年)	3,931 千万円	県政策地域部「市町村経済計算」
製造品出荷額(↑)	33,440 千万円 (平成30年)	35,112 千万円	経済産業省「工業統計調査」
第三次産業の年間売上額(↑)	346,390 千万円 (平成28年)	363,710 千万円	経済産業省「経済センサス」
圏域内観光客入込数(↑)	977 万人回 (平成30年)	1,028 万人回	県政策地域部「統計年鑑」

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
出前講座等の参加企業数(累計) (↑)	13 社 (平成31年3月末)	61 社	盛岡市

イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数(累計)(↑)	9 人 (令和元年度)	21 人	盛岡市
大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)	12 件 (令和2年10月末)	16 件	盛岡市、滝沢市
圏域市町における誘致企業延べ数(↑)	7 件 (令和2年10月末)	49 件	8 市町

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
まるごとフェアイベント入場者数(↑)	4,308 人 (令和元年度)	10,100 人	盛岡広域商工団体復興応援観光・物産フェア実行委員会
6次産業化の推進に向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等(個人起業家含む)の延べ件数(↑)	14 件 (令和元年度)	38 件	8 市町

首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)	9 回 (令和 2 年度)	27 回	盛岡市
盛岡手づくり村来場者数 (↑)	375,531 人 (令和元年度)	410,000 人	盛岡市

エ 戦略的な観光施策

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和 7 年度)	出所・出典
圏域内観光客入込数 (↑)	968 万人回 (令和元年)	1,028 万人回	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
圏域内外国人観光客入込数(↑)	238,784 人回 (令和元年)	300,000 人回	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
M I C E 開催助成件数(↑)	22 件 (令和元年度)	35 件/年	(公財) 盛岡観光 コンベンション協会
圏域内ロケ支援件数(↑)	63 件 (令和元年度)	100 件/年	盛岡広域フィルム コミッション
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数 (↑)	37,645 人 (令和元年度)	40,000 人/年	いわて・盛岡広域 観光センター
教育旅行入込客数 (学校数) (→)	1,603 校 (令和元年度)	1,600 校/年	県商工観光労働部 「いわての観光統計」
スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数 (→)	149 件 (令和元年度)	149 件/年	8 市町
盛岡市環境部ウェブサイト『eco もりおか』内のエコツーリズム該当ページ閲覧件数 (↑)	0 件 (令和 3 年 12 月末)	100 件/年	盛岡市

戦略 2 人の流れをつなぐ (高次の都市機能の集積・強化)

■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和 7 年度)	出所・出典
盛岡バスセンターからのバス発着便数 (→)	1,515 便 (令和元年度)	1,515 便	盛岡バスセンター 発着バス時刻表

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和 7 年度)	出所・出典
盛岡バスセンターからのバス発着便数 (→) (再掲)	1,515 便 (令和元年度)	1,515 便	盛岡バスセンター 発着バス時刻表
津志田白沢線の整備予定区間 (第 1 工区) 内の供用延長距離 (↑)	0m (令和元年度)	300m	盛岡市

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道（北側）の供用延長距離（↑）	0m (令和元年度)	435m	盛岡市

戦略3 暮らしの安心をつなぐ（圏域全体の生活関連機能サービスの向上）

■戦略の成果指標

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
圏域全体の生活関連機能サービスの向上にかかる連携事業数（都市圏ビジョンの実施事業数）（↑）	23 事業 (令和3年)	26 事業	盛岡広域首長懇談会

ア 生活機能の強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 (令和7年度)	出所・出典
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）	4 件 (令和元年度)	5 件	盛岡地区第二次救急医療対策委員会
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）	11 件 (令和元年度)	12 件	盛岡地区第二次救急医療対策委員会
盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム登録延べ件数（↑）	805 件 (令和元年度)	1,765 件	各警察署
盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合（↑）	74.2% (令和2年3月末)	77.4%	8 市町
配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）	1,111 件 (令和元年度)	1,100 件	盛岡市
人権出前講座受講者数（→）	659 人 (令和元年度)	700 人	盛岡市
人権出前講座回数（広域7市町）（→）	4 回 (令和元年度)	4 回	盛岡市
盛岡広域成年後見センターにおける年間延べ相談件数（↑）	566 件/年 (令和元年度)	1,168 件/年	盛岡市
市民後見人養成講座修了者数（累計）（↑）	147 人 (令和元年度)	274 人	盛岡市
障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）	5,251 件 (令和元年度)	5,200 件/年	8 市町
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）	4,248 件 (令和元年度)	4,803 件/年	8 市町
スポーツパル会員数（↑）	527 人 (平成30年12月末)	10,000 人	8 市町

もりおか就職面談会等への参加者（↑）	305 人 （平成 29 年度）	310 人/年	盛岡市
ジョブカフェいわての利用者数（→）	58,171 人 （令和元年度）	55,000 人/年	ジョブカフェいわて
もりおか若者サポートステーションに新規登録した者のうち就職決定したものの割合（↑）	58.8% （令和元年度）	58.8%	もりおか若者サポートステーション
災害用非常食糧の備蓄数（↑）	59,370 食 （令和 2 年 3 月末）	71,630 食	8 市町
東日本大震災周年行事の参加者数（→）	2,600 人 （平成 30 年 3 月）	2,600 人 （令和 6 年度）	盛岡広域首長懇談会
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数（→）	64 人 （令和元年度）	50 人/年	南岩手山岳遭難対策委員会事務局
岩手県央へい獣処理施設利用頭数（→）	825 頭 （令和元年度）	825 頭	新岩手農業協同組合
有害捕獲に係る研修受講者数（↑）	25 人 （令和 2 年度）	30 人	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 （令和 7 年度）	出所・出典
インターンシップへの参加事業者数（↑）	55 企業 （令和元年度）	120 企業	8 市町
移住ツアーの延べ参加者（↑）	－ （令和元年度）	100 人	盛岡市
圏域の消費生活相談における解決率（↑）	98.5% （令和元年度）	99.0%	盛岡市
入札参加資格申請の電子化率（↑）	98% （令和元年度）	100%	業務統計

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

指標名	成果指標設定時値	目標値 （令和 7 年度）	出所・出典
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）	8.7% （令和元年度）	9.0%	8 市町
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数（↑）	295 人 （令和元年度）	332 人	国保盛岡地区協議会事務局

第4章 具体的取組

本ビジョンに基づき実施する具体的取組は、各市町が実施する事業のうち、連携することにより成果が向上する、あるいはコストの削減が見込まれる等、各市町にメリットがあるもので、連携協約に基づき各市町間で協議を行い定めるものとなります。

■ 具体的取組一覧

【戦略1 産業の営みをつなぐ】

産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	
ものづくり人材育成事業	
今後検討する事業	地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	
創業支援事業、産学官連携の推進、圏域市町の連携による企業誘致の推進	
今後検討する事業	<u>国際リニアコライダー誘致推進事業</u>
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	
盛岡広域まるごとフェア開催事業、6次産業化の推進、盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信、盛岡手づくり村振興事業	
戦略的な観光施策	
広域観光推進事業、国際観光客誘致促進事業、MICEの誘致推進、盛岡広域フィルムコミッション事業、いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業、教育旅行誘致事業、スポーツツーリズム推進事業、エコツーリズムの振興	

【戦略2 人の流れをつなぐ】

高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	
盛岡バスセンター整備事業、幹線道路整備事業（津志田白沢線、市道谷地頭線（厨川工区））	
今後検討する事業	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業、北岩手・北三陸横断道路の整備促進、盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進、一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進

【戦略3 暮らしの安心をつなぐ】

生活機能の強化（地域医療、介護、福祉、教育・文化・スポーツ、地域振興、災害対策、環境）	
盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討、小児救急輪番制病院事業、第二次救急医療対策事業、盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム、保育所の広域入所、配偶者暴力相談支援センター広域連携事業、盛岡広域成年後見センター設置運営事業、障がい者相談支援事業、スポーツパル推進事業、 <u>盛岡南地区物流拠点整備事業</u> 、もりおか就職面談会等、若者の就業支援事業、自然災害等対策推進事業、震災対応事業、南岩手山岳遭難対策事業、岩手県央へい獣処理協議会事業、盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業	
結びつきやネットワークの強化（地域内外の住民との交流・移住促進、結びつきやネットワークの強化に係る分野）	
インターンシップ事業、盛岡広域移住・定住促進事業、消費者行政の共同実施、電子入札等基盤整備事業	
今後検討する事業	地方創生SDGs推進調査研究事業、デジタル化推進調査研究事業
圏域マネジメント能力の強化（人材の育成、圏域内市町の職員等の交流）	
人材の育成、圏域内市町の職員の交流、国保盛岡地区協議会事業	

1 戦略1 産業の営みをつなぐ（圏域全体の経済成長のけん引）

ア 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

No.	1-1	事業名	ものづくり人材育成事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域のものづくり人材を育成し、地元定着を促進するため、盛岡広域振興局、広域市町等と連携し、学生を対象にものづくりをテーマとする出前講座や工場見学、セミナーを開催する。					
見込まれる成果	人材育成に寄与することで、広域圏におけるものづくり事業の推進を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	112	137	122	149	38	558
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 市内企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 各市町の企業、大学、商工団体、盛岡広域振興局等との調整を取りながら、事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
出前講座等の参加企業数 (累計)（↑）		13 社 (平成 31 年 3 月末)		53 社 (令和 6 年 11 月末)	61 社	
(出所・出典) 盛岡市						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業	人口減少・少子高齢化の進行への対策として、盛岡広域圏の魅力を高める地方創生を推進するため、地方移住、副業、ワークライフバランスの推進や、持続可能な地域経済の維持のための地域のデジタル化に係る取組について調査研究を行う。

イ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業支援、地域の中核企業等を核とした戦略産業の育成

No.	1 - 2	事業名	創業支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域において、国の認可を受けた「創業支援等事業計画」に基づき、起業家塾・セミナーの開催や、「創業者向けファンド」の設立などを通じ、新規創業者・起業家へ支援を行う。					
見込まれる成果	圏域内の市町の境を越えて創業支援を受けることができるため、より創業しやすい環境の形成が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	250	400	250	250	400	1,550
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数（累計）（↑）		9人 （令和元年度）		41人 <u>（令和6年11月末）</u>		21人
（出所・出典）盛岡市						

No.	1 - 3	事業名	産学官連携の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡市産学官連携研究センター等の活用等により、企業が抱える技術的問題の解決や新製品・新技術の研究開発等を支援する。					
見込まれる成果	他市町の企業が盛岡市産学官連携研究センター等を活用することにより、圏域全体の企業の底上げにつながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>37,482</u>	<u>42,650</u>	<u>42,974</u>	<u>75,664</u>	<u>52,085</u>	<u>250,855</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡市産学官連携研究センター等を運営する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・滝沢市 IPU イノベーションセンターを運営する（滝沢市）。 ・事業実施に要する費用を負担する（滝沢市）。 ・各市町の企業と産学官連携研究センター等の施設とのマッチングに向けた調整を行う（各市町）。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
大学との共同研究により 開発された新商品延べ件 数(↑)		12 件 (令和2年10月末)		<u>14 件</u> <u>(令和6年11月末)</u>		16 件
(出所・出典) 盛岡市・滝沢市						

No.	1 - 4	事業名	圏域市町の連携による企業誘致の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	首都圏での企業立地セミナーの開催、トップセミナー、在京盛岡広域産業人会の活用による人的ネットワーク化などを行う。					
見込まれる成果	共同企業誘致に係る各市町間の役割分担を明確にすることで、より高い誘致効果が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2, 109	2, 109	2, 109	2, 109	2, 109	10, 545
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 圏域内への企業誘致に向けた事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 圏域内の企業誘致に向けた事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域市町における誘致企業延べ数(↑)		7 件 (令和2年10月末)		25 件 (令和6年3月末)		49 件
(出所・出典) 全市町						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため、情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。

ウ 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

No.	1 - 5	事業名	盛岡広域まるごとフェア開催事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域 8 市町の物産品販売やご当地グルメの販売を通じて、盛岡広域圏の魅力を発信する。					
見込まれる成果	広域 8 市町等の連携により、効率的に地域の魅力を発信できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	803	572	572	1,947
役割分担 費用負担	盛岡市	・主催する実行委員会との連絡調整を行う。 ・事業実施に要する費用（商工会議所に対する補助金）を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用（商工会議所・ <u>商工会</u> に対する補助金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和 7 年度）	
まるごとフェアイベント 入場者数(↑)		4,308 人 (令和元年度)	10,855 人 <u>(令和 6 年 3 月末)</u>		10,100 人	
(出所・出典) 盛岡広域商工団体「観光・物産フェア」実行委員会						

No.	1 - 6	事業名	6 次産業化の推進			
連携市町	全市町					
事業概要	6 次産業化及び地産地消等の推進につなげる取組の検討を行う。 ・ 広域 8 市町の 6 次産業化実践者を訪問し現地研修や、農業以外の業種が個々に持っている経営に関する情報などを意見交換や勉強会等により把握する。 ・ 盛岡地方の関係機関（8 市町含む）・団体が連携を密にし、農業、農村の振興に寄与することを目的とし、8 市町のほか広域振興局などの関係機関・団体との連携を検討する。 ・ 盛岡市が令和 2 年 3 月に策定した「盛岡産農畜産物の輸出促進に向けた基本方針」に基づき、各市町の農畜産物の強みを結集し、輸出品目の拡大など、継続的・安定的な輸出に向けた取組を推進する。 ・ 令和 5 年 12 月以降は、盛岡地方農業農村振興協議会において、事業を実施する。					
見込まれる成果	・ 各市町の食と農の推進だけでなく、8 市町連携によるスケールメリットを発揮した圏域の食と農の取組を進めることができる。 ・ 圏域としての食と農の魅力を購買者に伝えることにより、圏域の農産物や農産加工品の生産流通及び消費拡大による農業の活性化に寄与する。 ・ 8 市町の連携により、生産量（輸出ロット）の確保や輸出品目（特産品）の拡大を図ることが可能となり、相手国への訴求力向上による輸出促進が期待できる。 ・ 8 市町のほか広域振興局や J A などの関係機関・団体との協力体制を確保することで、更なる 6 次産業化、地産地消及び輸出の取組に関する検討の進展が見込まれる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動を支援するとともに、広域的な調整を行う。				
	連携市町	・ 事業の企画、現地研修、意見交換や勉強会研修の活動に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和 7 年度）	
6 次産業化の推進へ向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等（個人起業者含む）の延べ件数（↑）		14 件 （令和元年度）		32 件 <u>（令和 6 年 11 月末）</u>	38 件	
（出所・出典）盛岡広域首長懇談会 食農推進協議会、 <u>盛岡地方農業農村振興協議会</u>						

No.	1 - 7	事業名	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信				
連携市町		全市町					
事業概要		盛岡手づくり村が、圏域産品の販売や観光情報の発信等を行う。					
見込まれる成果		盛岡手づくり村が広域の一体的な販売促進や情報発信等を行うことにより、地場産業の振興及び地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		500	500	1,243	0	0	2,243
役割分担 費用負担		盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
		連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標			成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数（↑）			9 回 （令和2年度）		15 回 <u>（令和6年3月末）</u>		27 回
（出所・出典）盛岡市							

No.	1 - 8	事業名	盛岡手づくり村振興事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡手づくり村を良好な状態に維持管理し、来場者の便宜向上を含め、安全な施設運営を図るとともに、（公財）盛岡地域地場産業振興センターの事業支援を通じて、盛岡広域圏の地場産業の振興拠点としての機能強化を図る。					
見込まれる成果	盛岡広域の地場産業の拠点であることが再認識され、地域経済の活性化を図ることができる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	44, 019	45, 000	45, 000	45, 000	<u>41, 400</u>	<u>220, 419</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡手づくり村来場者数 （↑）		375, 531 人 （令和元年度）		<u>289, 002 人</u> <u>（令和6年3月末）</u>		410, 000 人
（出所・出典）盛岡市						

エ 戦略的な観光施策

No.	1 - 9	事業名	広域観光推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	誘客促進とエリアの観光振興に向け、盛岡・八幡平広域観光推進協議会及び盛岡広域元気まるごと発信事業実行委員会など広域観光団体の取組と連動した観光 PR の実施、自然景観、伝統芸能、食、温泉など圏域の魅力の情報発信などを行うほか、県や振興局等が実施する広域観光キャンペーンに参加するなど、各市町が連携して広域観光の推進を図る。 ※本事業において、下記事業を集約して取り組む。 ・スポーツ、健康、産業など特定のテーマと観光を組み合わせたニューツーリズムについて、新たな観光需要を期待できる体験メニューの企画開発やモデルコースの検討。 ・公共交通拠点を起点とした圏域市町を結ぶ2次交通の整備に向け、広域観光の取組やサービス向上の仕組みづくりなどの調査研究 ・交流人口の増加を目指して、圏域の魅力の効果的な情報発信により、新たな観光需要の掘り起こし					
見込まれる成果	圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	5, 897	8, 397	8, 397	8, 397	31, 088
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域を含む市町で構成する広域観光団体や関係機関等の取組に参画し、広域観光の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域内観光客入込数 (↑)		968 万人回 (令和元年)		760 万人回 (令和6年3月末)		1, 028 万人回
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1－10	事業名	国際観光客誘致促進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県や関係市町などとの連携により、 <u>訪日スキー旅行の人気の高い豪州からのスキー客誘致とともに、台湾から</u> の誘致促進を図るため、 <u>台湾・台中国際旅行展覧会に参加して誘客キャンペーン事業</u> を実施するほか、新たな市場開拓に向け、 <u>タイ現地における</u> 海外プロモーション活動の強化を図る。また、海外からの観光客誘致に向けた取組を進めるとともに、観光案内表示や観光ホームページ等の多言語化、Wi-Fi 通信環境整備の改善、浴衣や温泉、日本文化や和食などのメニューづくり、食事・買い物、各種体験などの仕組みづくり等、外国人観光客受入環境の整備を推進する。					
見込まれる成果	圏域内の外国人観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1, 645	<u>78, 492</u>	<u>60, 321</u>	<u>41, 951</u>	<u>5, 880</u>	<u>188, 289</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーションや外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域圏内自治体や観光団体等と連携しながら、国際旅行展への出展など、海外プロモーションや外国人観光客受入環境の整備を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域内外国人観光客入込数（↑）		238, 784 人回 (令和元年)		<u>144, 364 人回</u> <u>(令和6年3月末)</u>		300, 000 人回
(出所・出典) 岩手県県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1－11	事業名	M I C E の誘致推進			
連携市町	全市町					
事業概要	M I C E 開催支援制度を創設し、誘致活動を推進する。					
見込まれる成果	M I C E 誘致を推進するとともに、エクスカージョンを圏域で行うことによる波及効果で、圏域内の交流人口の増加と観光振興につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	500	8,600	6,400	<u>13,100</u>	<u>25,100</u>	<u>53,700</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ M I C E 開催助成を通じ、M I C E 誘致の推進と広域観光の P R を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ エクスカージョンの提供と M I C E 誘致に係る P R 活動の連携を図る。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
M I C E 開催助成件数 (↑)		22 件 (令和元年度)		15 件 <u>(令和6年3月末)</u>		35 件/年
(出所・出典) (公財) 盛岡観光コンベンション協会						

No.	1－12	事業名	盛岡広域フィルムコミッション事業			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域市町の連携により、ロケーションの誘致やロケーションに関する情報収集と情報・相談・斡旋等の支援を行う。					
見込まれる成果	圏域が有している魅力を、映画やテレビ等の映像を通じて広く紹介することにより、地域の知名度やイメージが向上し、観光客の増加や交流による地域活性化が見込まれる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1,258	1,258	1,258	1,258	1,258	6,290
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、ロケ誘致などフィルムコミッション事業の支援を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域内ロケ支援件数 (↑)		63 件 (令和元年度)		38 件 (令和6年3月末)		100 件/年
(出所・出典) 盛岡広域フィルムコミッション						

No.	1－13	事業名	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	県内・圏域の観光拠点である盛岡市・中心市街地のまちなか観光を推進し、圏域エリア内への周遊を促すため、広域の観光資源の情報発信や誘客宣伝活動などを行う。					
見込まれる成果	圏域で連携することにより、観光資源の情報発信や誘客宣伝が効果的に行われ、圏域内の観光客入込数の増加につながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	34,300
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域圏内自治体及び観光関係団体等と連携しながら、盛岡広域の観光案内や情報発信を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
いわて・盛岡広域観光センター来訪者数（↑）		37,645 人 （令和元年度）		43,507 人 <u>（令和6年3月末）</u>		40,000 人/年
（出所・出典）いわて・盛岡広域観光センター						

No.	1－14	事業名	教育旅行誘致事業			
連携市町	全市町					
事業概要	北陸新幹線・北海道新幹線開業を踏まえ、幅広い地域からの岩手・盛岡への来訪に対応するため、修学旅行ガイドブックの作成や関係団体などとの連携による教育旅行の誘致活動の強化と受入態勢の充実を図る。					
見込まれる成果	県内外からの修学旅行入込数が増加するほか、修学旅行で訪れた生徒・児童が将来的にリピーターへとつながる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	931	1, 635	<u>1, 946</u>	<u>2, 174</u>	<u>2, 502</u>	<u>9, 188</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・(公財) 岩手県観光協会教育旅行誘致宣伝部会の教育旅行誘致活動など、関係自治体及び観光関係団体等と連携しながら、教育旅行誘致の推進を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値 (令和7年度)
教育旅行入込客数 (学校数) (→)		1, 603 校 (令和元年)		<u>1, 809 校</u> <u>(令和6年3月末)</u>		1, 600 校/年
(出所・出典) 岩手県商工観光労働部「いわての観光統計」						

No.	1-15	事業名	スポーツツーリズム推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域連携組織の盛岡広域スポーツコミッションにおいて、基本的施策としてスポーツによる交流人口の拡大、地域スポーツの <u>魅力向上</u> 、 <u>広域的なスポーツツーリズムの推進</u> を掲げ、スポーツ大会・合宿の誘致等の事業に取り組む。					
見込まれる成果	<u>事業の推進により、地域スポーツの推進と地域経済の活性化が図られる。</u>					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	17,749	1,951	1,570	1,842	<u>1,750</u>	<u>24,862</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 広域連携によるスポーツ推進体制の在り方の調査・研究に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 <u>・ 盛岡広域スポーツコミッション事務局を運営する。</u> ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 調査・研究に参加するとともに、広域連携によるスポーツ推進に関して各市町の関係者・関係団体に対して働きかけを行うなど、事業実施に協力して取り組む。 ・ 地域スポーツ競技の広域的普及のための事業を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数（→）		149 件 （令和元年度）		<u>186 件</u> <u>（令和6年11月末）</u>		149 件/年
（出所・出典）8 市町						

No.	1-16	事業名	エコツーリズムの振興			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域における再生可能エネルギー施設の視察・見学について、盛岡市環境部ホームページ「eco もりおか」で情報発信を行うとともに、効果的なエコツーリズムの推進に向けた手法の検討を行う。					
見込まれる成果	多様な再生可能エネルギー施設を一元的に情報発信することにより、視察者や見学者のニーズに合わせたエコツーリズムを実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・エコツーリズムの振興に向けた事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 ・情報発信の基盤となるホームページを運営する。				
	連携市町	・エコツーリズムの振興に向けた事業に協力して取り組む。 ・各市町公式ホームページにおいて、情報発信を行う。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡市環境部ウェブサイト『eco もりおか』内のエコツーリズム該当ページ閲覧件数（↑）		0 件 (令和3年12月末)		124 件 (令和6年12月末)		100 件/年
(出所・出典) 盛岡市						

2 戦略2 人の流れをつなぐ（高次の都市機能の集積・強化）

ア 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築

No.	2 - 1	事業名	盛岡バスセンター整備事業			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域内外のバス交通アクセス拠点である盛岡バスセンターは、令和4年度秋までの開業を目指し、令和3年度は開業後の施設の活用方法等について協議・検討を行った。 令和4年 10 月 4 日に開業した盛岡バスセンターの待合室に盛岡・八幡平広域観光推進協議会構成市町村（広域8市町、宮古市、岩泉町、秋田県鹿角市及び小坂町）の観光パンフレットを配架し、バスセンター利用者に必要とされる情報発信機能の充実を図った。					
見込まれる成果	広域バス交通の拠点である盛岡バスセンターが整備されることにより、圏域内の交通サービスの維持・強化が図られる。また、バスセンター内に設けるサービス施設の整備により、圏域内の観光・物産・交流の情報発信機能などの充実が図られる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	19,950	9,977	-	-	-	29,927
役割分担 費用負担	盛岡市	・バスセンターにバス待合室、屋上広場、ラウンジ等の情報発信やイベント等に活用できる機能を整備し、広域8市町の魅力を発信する方法等を各市町と検討する。				
	連携市町	・バス待合室等のサービス施設の整備を検討する際に、具体的な施設の活用方法について盛岡市と協議する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡バスセンターからのバス発着便数（→）		1,515 便 （令和元年度）		1,081 便 <u>（令和6年3月末）</u>		1,515 便
(出所・出典) 盛岡バスセンター発着バス時刻表						

No.	2 - 2	事業名	幹線道路整備事業（津志田白沢線）				
連携市町	盛岡市、矢巾町						
事業概要	盛岡市と矢巾町をつなぐ幹線道路の整備を行う。						
見込まれる成果	周辺には都南図書館、都南文化会館や都南中央公園等公共施設が集中しているため、本路線の整備により当該地域の安全で円滑な交通の確保と周辺の都市計画道路等との有機的な連絡による地域間交流・連携の機能向上を図るものである。						
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	<u>75,847</u>	<u>87,281</u>	<u>102,461</u>	<u>83,910</u>	<u>219,910</u>	<u>569,409</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	・事業区間 2,160m のうち、盛岡市域約 2,090mの整備を行う。					
	連携市町	・事業区間のうち、矢巾町域約 70mの整備を行う。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）	
津志田白沢線の整備予定 区間（第1工区）内の供 用延長距離（↑）		0 m （令和元年度）		<u>300m</u> <u>（令和6年11月末）</u>		300m	
（出所・出典）盛岡市							

No.	2 - 3	事業名	幹線道路整備事業（市道谷地頭線外 1 路線（厨川工区））				
連携市町	盛岡市、滝沢市						
事業概要	盛岡市と滝沢市をつなぐ幹線道路の整備を行う。						
見込まれる成果	地域間交流や医療、産業振興、防災などのネットワーク強化を図ることができる。						
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	152	<u>108,491</u>	<u>86,208</u>	<u>397,341</u>	<u>255,000</u>	<u>847,192</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 未整備区間 990m の整備を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・ 整備完了区間の維持管理を行う。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）	
市道谷地頭線の整備予定 区間内の新設歩道（北 側）の供用延長距離 （↑）		0 m （令和元年度）		0 m <u>（令和 6 年 11 月末）</u>		435m	
（出所・出典）盛岡市							

○今後検討する事業

事業名	事業概要
広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	人口減少社会においても公共交通網を維持しつづける観点から、利便性の向上を図り以て利用者を確保するため、交通系 IC カードなどの導入やサービスの共通化、電子決済データと車両運行管理データを統合した情報分析による運行経路やダイヤの最適化、異なる公共交通間の乗り継ぎの改善など、MaaS 基盤の整備を見据えた調査研究を行う。
北岩手・北三陸横断道路の整備促進	盛岡市以北において、内陸部と三陸沿岸北部を結ぶ路線は、線形不良や隘路区間のほか、急勾配・急カーブが連続する交通の難所であり、移動に多くの時間を要する状況にある。盛岡以北の市町村には、農林水産物など魅力ある地域資源が数多くあるほか、災害時の後方支援拠点に指定されていることなどから、観光や災害対策の面など多分野において地域間連携を加速させ、地方創生や人口減少対策に寄与するため、北岩手・北三陸を横断する「（仮称）久慈内陸道路」の整備促進に向けた要望活動を行う。
盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパス北バイパスは、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、2 環状 6 放射の骨格道路網の重要な幹線道路として位置づけられており、国道 46 号西廻りバイパスの 4 車線化も進んでいる。盛岡西廻りバイパス北バイパスの早期整備は、盛岡広域圏における主要幹線である主要地方道盛岡環状線や国道 4 号盛岡バイパスの渋滞緩和にも繋がり様々な盛岡広域圏のネットワークの強化を図ることができることから、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携した取組を進める。
一般国道 4 号「盛岡南道路」の整備促進	一般国道 4 号「盛岡南道路」は、平成 26 年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、重要な幹線道路に位置づけられている。交通ネットワークの充実により、人やモノの流れの活発化や地域資源や機能の相互利用が見込まれることから、各市町を結ぶ道路ネットワークを形成するため、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携し、整備促進に向けた取組を進める。

ア 生活機能の強化に係る政策分野

(7) 地域医療

No.	3 - 1	事業名	盛岡保健医療圏域における救急医療体制に関する検討			
連携市町	全市町					
事業概要	岩手医科大学附属病院移転後の救急医療体制の確保等について、広域市町や医大等の関係機関と検討する。					
見込まれる成果	医大附属病院の移転により、これらの患者が他の救急医療機関へ集中し重症患者の診療に支障をきたさないようにするため、盛岡保健医療圏域全体の救急医療体制を整備する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討や盛岡保健医療圏としての情報共有や統一した意見の集約において広域的な調整を行う。				
	連携市町	・ 医大附属病院移転後の二次救急医療の課題検討に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児） （↑）		4 件 （令和元年度）		4 件 <u>（令和6年11月末）</u>		5 件
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次） （↑）		11 件 （令和元年度）		11 件 <u>（令和6年11月末）</u>		12 件
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会						

No.	3 - 2	事業名	小児救急輪番制病院事業			
連携市町	全市町					
事業概要	休日・夜間等に入院加療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院に対し、運営費を補助する。また、公的病院等に対して特別交付税措置制度を活用し、運営費補助を実施する。					
見込まれる成果	休日・夜間において、圏域の小児重症患者に救急医療を提供する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	18,963	19,355	19,616	<u>19,658</u>	<u>22,792</u>	<u>100,384</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 小児救急医療事業に関する運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏8市町の事務局的役割を担う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 小児救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
盛岡保健医療圏における当番病院の数（小児）（↑）		4 件 (令和元年度)		4 件 <u>(令和6年11月末)</u>		5 件
(出所・出典) 盛岡地区二次救急医療対策委員会						

No.	3 - 3	事業名	第二次救急医療対策事業				
連携市町	全市町						
事業概要	盛岡地区二次救急医療事業に要する経費の一部を広域各市町で負担し、盛岡市が取りまとめ補助金として交付する。						
見込まれる成果	休日・夜間の二次救急輪番制病院群を支援し、圏域の二次救急医療体制を確保する。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	<u>46,004</u>	<u>38,924</u>	<u>47,854</u>	<u>60,960</u>	<u>61,013</u>	<u>254,755</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施するとともに、盛岡保健医療圏 8 市町の事務局的役割を担う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・ 二次救急医療事業に係る運営費の補助等を実施する。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）	
盛岡保健医療圏における当番病院の数（第二次）（↑）		11 件 （令和元年度）		11 件 <u>（令和 6 年 11 月末）</u>		12 件	
（出所・出典）盛岡地区二次救急医療対策委員会							

(イ) 介護

No.	3 - 4	事業名	盛岡広域シルバーケア S O S ネットワークシステム				
連携市町	全市町						
事業概要	警察署等の関係機関との連携を強化し、徘徊高齢者の住所不明事案の手配及び発見・保護、システムの周知と早期発見の指導を行う。また、住所不明事案発生時の情報共有を行う。						
見込まれる成果	S O S ネットワークシステム登録件数及び履物用ステッカーの交付件数が増加し、徘徊高齢者の速やかな発見につなげることができる。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	630	0	660	0	<u>725</u>	<u>2,015</u>	
役割分担 費用負担	盛岡市	・履物用ステッカーの購入数の取りまとめを行う。 ・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・履物用ステッカーに関する周知、広報、配布を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）	
盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム 登録延べ件数（↑）		805 件 （令和元年度）		<u>1,406 件</u> <u>（令和6年11月末）</u>		1,765 件	
（出所・出典）各警察署							

(ウ) 福祉

No.	3 - 5	事業名	保育所の広域入所			
連携市町	全市町					
事業概要	保護者の居住地外での就労や里帰り出産、転出入等の特別な事情により、盛岡広域他市町の保育所等（保育所、認定こども園及び地域型保育事業に係る施設）での保育を必要としている児童の入所を調整・実施する。					
見込まれる成果	保護者の就労環境等の事情に応じて広域入所を希望する児童を適切に保育できる。また、転出入があった場合も、切れ目のない保育の実施が可能となる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	399, 555	396, 555	448, 703	519, 940	328, 125	2, 092, 878
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 連携市町からの新規・継続入所を受け付ける。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 盛岡市からの新規・継続入所を受け付ける。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合（↑）		74. 2% (R2 年 3 月末)		88. 1% (令和 6 年 3 月末)	77. 4%	
(出所・出典) 8 市町						

No.	3 - 6	事業名	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業				
連携市町	全市町						
事業概要	配偶者からの暴力防止対策等に向けた連携として、盛岡市配偶者暴力相談支援センターの業務の対象を広域圏へ広げる。現在の相談員 1 人に、週 3 日（15 時間）の相談員を加え、DV 防止に向けた啓発、相談（必要に応じた出張相談）、対応事案に対する相談（スーパーバイザー）等を実施し、広域市町が相互に連携を図りながら協力し取り組む。						
見込まれる成果	対象を圏域全体に拡大することで、住民の安全を確保するとともに、市町職員のDV等被害者対応能力の向上を図ることができる。						
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	4, 347	4, 321	4, 321	4, 321	4, 321	21, 631	
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 配偶者暴力相談支援センターの運営や相談員の確保等、圏域における配偶者等からの暴力防止対策事業に取り組むとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・ 出張DV相談の実施や緊急避難時の移送等の協力等、事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。（令和 7 年度以降の費用負担について協議を行う。）					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和 7 年度）	
配偶者暴力相談支援センターの相談件数（→）		1, 111 件 （令和元年度）		485 件 <u>（令和 6 年 11 月末）</u>		1, 100 件	
人権出前講座受講者数（→）		659 人 （令和元年度）		568 人 <u>（令和 6 年 11 月末）</u>		700 人	
人権出前講座回数 （広域 7 市町）（→）		4 回 （令和元年度）		3 回 <u>（令和 6 年 11 月末）</u>		4 回	
（出所・出典） 8 市町							

No.	3 - 7	事業名	盛岡広域成年後見センター設置運営事業				
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、岩手町						
事業概要	・成年後見制度は、認知症高齢者や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人の権利を守り生活を支える重要な仕組みであるが、制度利用は十分でない状況にあることから、成年後見に関する相談から利用までの一貫した支援を行うため、盛岡広域6市町で成年後見センターを共同設置し、次の事業を行う。 ・広報・啓発、相談対応、申立支援、市民後見人養成、成年後見人等活動支援、受任者調整、関係機関等との連携調整						
見込まれる成果	・認知症高齢者等の財産管理、身上保護を成年後見人等が適切に行うことになり、権利擁護が図られる。 ・成年後見人等の担い手不足が解消し、必要とする人が成年後見制度を利用できるようになる。						
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計	
	25, 105	30, 431	30, 454	32, 999	35, 162	154, 151	
役割分担 費用負担	盛岡市	・幹事市として受託者との委託契約を締結する。 ・運営委員会を開催し、センターの適正な運営を図る。 ・センターの周知啓発を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
	連携市町	・運営委員会に出席し、センターの適正な運営を図る。 ・センターの周知啓発を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。					
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）	
盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数（↑）		566 件/年 （令和元年度）		1, 124 件/年 （令和6年11月末）		1, 168 件/年	
市民後見人養成講座修了者数（累計）（↑）		147 人 （令和元年度）		262 人 （令和6年11月末）		274 人	
（出所・出典）盛岡広域成年後見センター、6市町の地域包括支援センター							

No.	3 - 8	事業名	障がい者相談支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	在宅福祉等を担当する相談支援専門員を配置し、在宅の障がい児（者）及び保護者等に対し、家庭訪問等により相談等に応じて助言等を行う。					
見込まれる成果	障がい者の日常生活における利便性・快適性の向上とともに、心理的・精神的負担が軽減されることで、生活の安定が図られ、自立した生活を送れるようになる。					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	41, 270	40, 820	<u>43, 495</u>	<u>42, 815</u>	<u>42, 815</u>	<u>211, 215</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、事業内容に関する協議を開催する等、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業に関する協議に参加する等、事業実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数（→）		5, 251 件 （令和元年度）	<u>6, 146 件</u> <u>（令和6年3月末）</u>		5, 200 件/年	
計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数（↑）		4, 248 人 （令和元年度）	<u>4, 925 件</u> <u>（令和6年3月末）</u>		4, 803 人/年	
（出所・出典）8 市町						

(エ) 教育・文化・スポーツ

No.	3-9	事業名	スポーツパル推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	スポーツに親しみスポーツを支える住民のネットワークをつくり、地域の住民がスポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする取組。 ・スポーツ施設の利用、ボランティア活動に参加することによりポイントを貯めることができ、ポイントに応じてグッズ等と交換できる。メールマガジンによりスポーツ情報の配信を行う。					
見込まれる成果	圏域住民のスポーツをする、見る、支える活動機会の充実が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	509	509	479	538	535	2,570
役割分担 費用負担	盛岡市	・スポーツパル会員への情報発信を行うとともに、スポーツ施設やプロスポーツとの連絡調整を行う。				
	連携市町	・各市町のスポーツ情報の提供やスポーツ施設との連絡調整等、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
スポーツパル会員数 (↑)		527 人 (平成30年12月末)		3,432 人 (令和6年11月末)	10,000 人	
(出所・出典) 8 市町						

(オ) 地域振興

No.	3 - 10	事業名		盛岡南地区物流拠点整備事業			
連携市町		全市町					
事業概要		東北縦貫自動車道、地域高規格道路一般国道 106 号宮古盛岡横断道路などの交通インフラや、脱炭素を目指したモーダルシフトやインランドデポ機能による輸出拡大が期待される盛岡貨物ターミナル駅により、交通環境等で優位性が高い盛岡南地区において、物流拠点の整備を行う。					
見込まれる成果		「物流の 2024 年問題」を契機とし、物流業界において急務とされる労働環境の改善や効率化・集約化による競争力強化に対応する新たな物流拠点を整備することで、物流事業者の立地需要に応え、企業誘致の推進及び新たな雇用の創出を図るほか、EC 市場を活用した圏域事業者の販路拡大の推進など、圏域をはじめとした全県及び北東北への産業活性化の波及効果が見込まれる。 また、物流機能の充実により、今後深刻な課題となると懸念されるトラックドライバーの人手不足に対応することで、生活必需品の安定供給が図られ、圏域全体の市民生活の維持向上に寄与するほか、有事の際の支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時においても円滑かつ適時適切な支援物資の輸配送に資する。					
事業費見込み (千円)		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
		二	二	二	4,070	80,594	84,664
役割分担 費用負担		盛岡市	・ 民間事業者と連携し、都市計画道路等のインフラを含めた物流拠点の整備を行う。 ・ 物流拠点への企業誘致に向けた支援策等に取り組むとともに、広域的な調整を行う。				
		連携市町	・ 物流拠点への企業誘致に向けた支援策等に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値 (令和7年度)	
物流拠点への立地意向を示す事業者数 (↑)		0 件 (令和6年度)		0 件 (令和6年11月末)		3 件	
(出所・出典) 盛岡市							

No.	3 - <u>11</u>	事業名	もりおか就職面談会等			
連携市町	全市町					
事業概要	圏域における若年者の地元就職を促進するため、ハローワーク及び盛岡地域雇用開発協会等と連携し、 <u>就職面談会</u> の開催や盛岡地域企業ガイドブックの作成など各種事業を実施する。					
見込まれる成果	就職面談会への参加企業を広域圏内の企業に広げ、また各市町が連携して周知広報を行うことにより、 <u>就職面談会</u> への参加者の増加が見込まれ、 <u>求職者と企業のマッチング</u> が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2, 224	2, 218	<u>2, 170</u>	2, 223	<u>2, 174</u>	<u>11, 009</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用（会場使用料・盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。 ・事業実施に要する費用（盛岡地域雇用開発協会負担金）を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
もりおか就職面談会等への参加者数（↑）		305 人 （平成 29 年度）	<u>34 人</u> <u>（令和 6 年 3 月末）</u>		310 人/年	
（出所・出典）盛岡市						

No.	3 - <u>12</u>	事業名	若者の就業支援事業			
連携市町	全市町					
事業概要	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」との連携や、高校生スキルアップ支援事業や新社会人就職定着支援事業等の実施により、若者の地元企業等への定着支援を行う。					
見込まれる成果	「ジョブカフェいわて」や「もりおか若者サポートステーション」といった若者の就業を支援する機関の利用者が増加し、地元企業への就職・定着が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	13, 814	19, 265	<u>20, 454</u>	21, 514	<u>17, 780</u>	<u>92, 827</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
ジョブカフェいわての利用者数（→）		58, 171 人 （令和元年度）	<u>10, 307 人</u> <u>（令和6年3月末）</u>		55, 000 人/年	
もりおか若者サポートステーションに新規登録した者のうち就職決定したものの割合（↑）		58. 8% （令和元年度）	<u>78. 0%</u> <u>（令和6年3月末）</u>		58. 8%	
（出所・出典）もりおか若者サポートステーション						

(カ) 災害対策

No.	3 - <u>13</u>	事業名	自然災害等対策推進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	広域災害等の発生を想定し、圏域市町で連携した減災・防災体制の連携強化を図る。					
見込まれる成果	広域災害発生時等における圏域市町の連携・協力体制を構築することにより、住民の安全・安心の確保と地域防災力の強化を図ることができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>16,918</u>	<u>67,883</u>	<u>10,648</u>	<u>9,796</u>	<u>53,816</u>	<u>159,061</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 各市町における取組状況の報告等、本事業の実施に協力して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
災害用非常食糧の備蓄数 （↑）		59, 370 食 （令和2年3月末）		<u>68,444 食</u> <u>（令和6年11月末）</u>	71,630 食	
（出所・出典） 8市町						

No.	3 - 14	事業名	震災対応事業			
連携市町	全市町					
事業概要	・東日本大震災周年行事 東日本大震災の発災日である3月 11 日に、地域住民とともに犠牲となった方々の冥福を祈り、復興への誓いを新たにするとともに、 <u>あの日の記憶・教訓を語り継ぎ、想いをつないでいく</u> ための行事を開催する。					
見込まれる成果	・東日本大震災周年行事 追悼式や地域住民が自由に参加できる灯籠イベントを開催することにより、震災の記憶の風化防止に寄与することが期待される。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>1,119</u>	<u>1,253</u>	<u>1,032</u>	1,260	<u>1,260</u>	<u>5,924</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・事業の企画総括や事業実施に係る調整及び取りまとめ、関係機関・団体との各種調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・周年行事用の灯籠作成に係る地域内の小学校等への依頼等を行う。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値 (<u>令和7年度</u>)	
東日本大震災周年行事の参加者数 (→)		2,600 人 (平成30年3月)		<u>1,830 人</u> <u>(令和6年3月末)</u>	2,600 人	
(出所・出典) 盛岡広域首長懇談会						

No.	3 - <u>15</u>	事業名	南岩手山岳遭難対策事業			
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町					
事業概要	岩手山を中心とする山岳における遭難事故の防止、遭難者の捜索及び救助を目的とし、遭難事故等を想定した合同訓練を実施する。					
見込まれる成果	岩手山を中心とする山岳での遭難事故発生時等における遭難救助を迅速、効果的に実施することができる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	600	600	600	600	600	3, 000
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本会の事業・活動に連携して取り組む。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数（→）		64 人 （令和元年度）		<u>30 人</u> <u>(令和6年11月末)</u>	50 人/年	
(出所・出典) 南岩手山岳遭難対策委員会事務局						

(*) 環境

No.	3 - <u>16</u>	事業名	岩手県央へい獣処理協議会事業			
連携市町	盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町					
事業概要	岩手県央へい獣処理協議会は、環境保全及び家畜防疫上重要である死亡家畜の適正処理に取り組むため、盛岡市をはじめとした5市町管内の死亡家畜（牛・馬）を適正に処理するための一時保管施設として、行政機関、農業協同組合、民間事業者で設立されたものである。 「化製場等に関する法律」に基づき、盛岡市をはじめとした5市町管内の死亡家畜（牛・馬）を適正に処理するため、当協議会において令和元年度に保冷施設を新設し、管理運営を行っている。 【協議会構成団体】盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、新岩手農業協同組合、岩手中央酪農業協同組合、岩手花平農業協同組合、岩手中央農業協同組合、小岩井農牧株式会社					
見込まれる成果	環境保全及び家畜防疫のため、5市町管内の死亡家畜を適正処理することにより、管内の畜産農家の健全経営に寄与する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1, 150	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	7, 150
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 協議会における、施設の運営・管理についての、情報共有、意見交換を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 協議会において、施設の運営・管理についての、情報共有、意見交換を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
岩手県央へい獣処理施設 施設利用頭数（→）		825 頭 （令和元年度）		<u>785 頭</u> <u>（令和6年11月末）</u>		825 頭
（出所・出典）岩手県央へい獣処理協議会						

No.	3 - <u>17</u>	事業名	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業			
連携市町	全市町					
事業概要	盛岡広域における、野生鳥獣による農作物被害金額は年々増加傾向にあり、有害鳥獣被害対策は喫緊の課題となっている。野生鳥獣は行政区域を越えて移動することから、連携して有害鳥獣被害対策に取り組むため、平成30年度に盛岡広域8市町で「盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会」を設立し、有害鳥獣捕獲の担い手を育成するため矢巾総合射撃場の整備を当該協議会が事業主体となり行った。今後も、8市町が連携し、被害状況や対策について情報共有や被害防止のための研修会の開催により、現場技術指導者の育成を行うとともに、ジビエ肉処理加工施設整備や、捕獲個体の適正な処理等の有害鳥獣対策を検討するものである。					
見込まれる成果	盛岡広域で有害鳥獣対策に取り組むことにより、農作物被害の減少が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	80	57	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>35</u>	<u>242</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 広域8市町の連携による有害鳥獣対策活動。 ・ 被害状況や対策についての情報共有。				
	連携市町	・ 広域8市町の連携による有害鳥獣対策活動。 ・ 被害状況や対策についての情報共有。 ・ 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会の事務局を担当する。(矢巾町)				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値 (令和7年度)
有害捕獲に係る研修受講者数 (↑)		25 人 (令和2年度)		<u>20 人</u> <u>(令和6年11月末)</u>		30 人
(出所・出典) 盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会						

イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(7) 地域内外の住民との交流・移住促進

No.	3 - <u>18</u>	事業名	インターンシップ事業			
連携市町	全市町					
事業概要	就職を目指す高校生の地元定着を図るために、インターンシップを受け入れる事業所を開拓し、実習を希望する高校生とのマッチングを行う。					
見込まれる成果	圏域全体で受入れ企業を開拓し、実習の受入体勢を整備することにより、高校生に多くの業種や地元企業の周知ができ、県内に就職する高校卒業者の増が見込まれる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	<u>15</u>	4	<u>3</u>	4	<u>3</u>	<u>29</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・ 本事業を実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・ 事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・ 本事業の実施に協力して取り組む。(実習を受け入れる企業の開拓、管内の高校への周知等) <u>・ 事業実施に要する費用を負担する。</u>				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値 (令和7年度)	
インターンシップへの参加事業者数 (↑)		55 企業 (令和元年度)	65 企業 <u>(令和6年3月末)</u>		120 企業	
(出所・出典) 8市町						

No.	3 - <u>19</u>	事業名	盛岡広域移住・定住促進事業			
連携市町	全市町					
事業概要	地方創生における人口減少対策のうち、各市町に共通する課題と考えられる「首都圏からの移住促進」について、盛岡広域振興局と連携しながら、盛岡広域圏が一体となり取り組むため、情報発信、移住ツアー、移住相談など受入体制の充実を図る。（事業の実施内容を踏まえて <u>令和7年度</u> に事業の見直しを行う。）					
見込まれる成果	移住促進について、各市町が強みを活かしながら盛岡広域圏としての一体的に取り組むことで、より良いイメージを形成することが可能となり、首都圏在住者に対する訴求力の向上に資する。また移住希望者にとって選択の幅も広がり、他都市との差別化を図ることが可能となるほか、各市町における情報発信や相談支援などの効果的な事業展開に寄与する。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	2, 132	2, 530	1, 000	<u>7, 995</u>	<u>10, 804</u>	<u>24, 461</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・本事業に係る事務担当を担うほか、企画・運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・本事業の実施に合わせ、必要な情報提供や受け入れについて協力を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。（ <u>令和7年度</u> 以降に検討）				
成果指標		成果指標設定時値	現状値		目標値（令和7年度）	
移住ツアーの延べ参加者 (↑)		- (令和元年度)	<u>185 人</u> <u>(令和6年3月末)</u>		100 人	
(出所・出典) 8 市町						

(ウ) 上記に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る分野

No.	3 - <u>20</u>	事業名	消費者行政の共同実施			
連携市町	全市町					
事業概要	・消費者行政（消費生活相談、啓発等）の共同実施を円滑に推進する。 ・共同実施を円滑に実施するための協議を行う。 ・消費者行政に必要な情報及び知識等を得る研修を行う。					
見込まれる成果	圏域全体で取り組むことにより、各市町が個別に取り組む場合と比較して効率的かつ合理的に消費者行政の推進が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	3, 425	3, 493	<u>3, 916</u>	<u>4, 550</u>	<u>4, 571</u>	<u>19, 955</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡市消費生活センターを「盛岡広域消費生活センター」として位置付け、主体的に運営するとともに、広域市町と情報共有しながら連携する。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・盛岡広域消費生活センターとの情報共有などの連携を図る。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
圏域の消費生活相談における解決率（↑）		98.5% （令和元年度）		<u>97.95%</u> <u>（令和6年11月末）</u>		99.0%
（出所・出典）盛岡市						

No.	3 - <u>21</u>	事業名	電子入札等基盤整備事業			
連携市町	全市町					
事業概要	・各市町で行う競争入札参加資格申請（工事、建設関連業務委託、物品の買入れ等）を広域市町で統一し、受付にあたっては電子化を進めることで、申請者の利便性の向上につなげるほか、広域市町における受付・審査事務の役割分担を明確にすることで、事務の効率化を図る。 ・電子入札<u>及び電子契約</u>の導入を検討する広域市町に対し、実際の流れや導入効果等の情報共有を行い、電子化を進めることで、さらなる入札・<u>契約</u>事務の効率化を目指す。 ・上記事業の取組推進に係る定期的な会議開催のほか、入札・契約事務に関する協議や共同研修等の場を設けることにより、入札・契約事務の適正化を図る。					
見込まれる成果	・入札参加資格申請事業者の大幅な利便の向上（広域ワンストップサービスの提供） ・広域市町における競争入札参加資格申請受付及び審査業務の負担軽減 ・広域市町における入札・契約事務の効率化及び適正化					
事業費見込み （千円）	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	11, 501	4, 657	<u>6, 350</u>	<u>4, 175</u>	<u>12, 695</u>	<u>39, 378</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域 8 市町の契約担当課との意見交換会の事務局機能 ・入札参加資格申請に係る共通審査事項の審査、盛岡市分に係る個別審査事項の審査、格付け等 ・システム運用委託等に係る契約・支払事務				
	連携市町	・各市町に係る入札参加資格申請個別審査事項の審査、格付け等 ・システム運用委託等に係る一部負担				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和 7 年度）	
入札参加資格申請の電子化率（↑）		98% （令和元年度）		100% <u>（令和 6 年 11 月末）</u>	100%	
（出所・出典）業務統計						

○今後検討する事業

事業名	事業概要
地方創生 SDGs 推進調査研究事業	SDGs 登録・認証等制度により、SDGs に積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い、地域事業者等の認知度向上や人材確保、多様なステークホルダーの連携による自律的好循環の形成を図り、コロナ禍において新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るとともに、地方創生及び SDGs の推進を図る。
デジタル化推進調査研究事業	Society5.0 の進行における行政のデジタル化の推進について、広域で取り組むことが効果的である分野の選定や協同して取り組む手法について調査研究を行う。

ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(7) 人材の育成

No.	3 - <u>22</u>	事業名	人材の育成			
連携市町	全市町					
事業概要	職員研修等を圏域内市町で共有する。					
見込まれる成果	研修等の共有化により、職員間の相互理解が深まるとともに、能力・資質の向上が期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）		8.7% （令和元年度）		<u>7.6%</u> <u>（令和6年11月末）</u>	9.0%	
（出所・出典）8市町						

(イ) 圏域内市町の職員等の交流

No.	3 - <u>23</u>	事業名	圏域内市町の職員の交流			
連携市町	全市町					
事業概要	新規事業や共同事業などによる個別の人事交流を実施するほか、職員の意識改革や能力・資質の向上が期待できる多様な形態の人事交流の実施可能性を検討し、人材育成の推進を図る。					
見込まれる成果	職員間の相互理解が深まるほか、各市町で行われている人事交流や派遣研修等の取組内容、成果等を検証することにより、行政ニーズに対応し得る人材育成につながることを期待できる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	0	0	0	0	0	0
役割分担 費用負担	盛岡市	・盛岡広域首長懇談会人材育成部会の運営を通じ、各市町間の情報交換や共通課題の検討を行う。				
	連携市町	・必要に応じ、事業実施に協力して取り組む。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値	目標値（令和7年度）	
広域他市町の研修に参加した職員の割合（↑）		8.7% （令和元年度）		<u>7.6%</u> <u>（令和6年11月末）</u>	9.0%	
（出所・出典）8市町						

No.	3 - <u>24</u>	事業名	国保盛岡地区協議会事業			
連携市町	全市町					
事業概要	国民健康保険事業に関する情報交換や各種研修会等を、総務部会や保健活動部会などの各部会において実施する。					
見込まれる成果	国民健康保険事業の健全な運営の確保や事務の標準化、国保関係者の資質の向上が図られる。					
事業費見込み (千円)	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	計
	1, 823	2, 427	<u>2, 619</u>	<u>2, 900</u>	<u>817</u>	<u>10, 586</u>
役割分担 費用負担	盛岡市	・各種事業を企画、実施するとともに、広域的な調整を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
	連携市町	・協議会が開催する各種事業へ参加するとともに、輪番で担当となる事業の企画運営を行う。 ・事業実施に要する費用を負担する。				
成果指標		成果指標設定時値		現状値		目標値（令和7年度）
国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数（↑）		295 人 （令和元年度）		<u>303 人</u> <u>（令和6年11月末）</u>		332 人/年
（出所・出典）国保盛岡地区協議会事務局						

都市圏ビジョン事業一覧

資料 2 - 3

事業分類				指標名	指標	当初値		単位	令和4年度末	令和5年度末	現状値 (令和6年11月末時点)	目標値 (令和7年度)
						設定時期	値					
戦略 1	1-1	1-ア	ものづくり人材育成事業	出前講座等の参加企業数(累計)(↑)	↑	平成31年3月末	13	社	39	51	53	61
	1-2	1-イ	創業支援事業	起業家塾@もりおか参加者のうち起業した者の数(累計)(↑)	↑	令和元年度末	9	人	13	32	41	21
	1-3	1-イ	産学官連携の推進	大学との共同研究により開発された新商品延べ件数(↑)	↑	令和2年10月末	12	件	12	14	14	16
	1-4	1-イ	圏域市町の連携による企業誘致の推進	圏域市町における誘致企業延べ数(↑)	↑	令和2年10月末	7	件	22	25	— (年度末に集計)	49
	1-5	1-ウ	盛岡広域まるごとフェア開催事業	まるごとフェアイベント入場者数(↑)	↑	令和元年度末	4,308	人	0	10,855	— (年度末に集計)	10,100
	1-6	1-ウ	6次産業化の推進	6次産業化の推進へ向けた現地研修、勉強会等により意見交換した企業・団体等(個人起業者含む)の延べ件数(↑)	↑	令和元年度末	14	件	28	32	32	38
	1-7	1-ウ	盛岡手づくり村における圏域産品等の情報発信	首都圏等における物産展等を活用した情報発信の延べ回数(↑)	↑	令和2年度	9	回	13	15	— (年度末に集計)	27
	1-8	1-ウ	盛岡手づくり村振興事業	盛岡手づくり村来場者数(↑)	↑	令和元年度末	375,531	人	221,192	289,002	— (年度末に集計)	410,000
	1-9	1-エ	広域観光推進事業	圏域内観光客入込数(↑)	↑	令和元年度末	986	万人回	541	760	— (年度末に集計)	1,028
	1-10	1-エ	国際観光客誘致促進事業	圏域内外国人観光客入込数(↑)	↑	令和元年度末	238,784	人回	11,013	144,364	— (年度末に集計)	300,000
	1-11	1-エ	MICEの誘致推進	MICE開催助成件数(↑)	↑	令和元年度末	22	件	15	15	— (年度末に集計)	35
	1-12	1-エ	盛岡広域フィルムコミッション事業	圏域内ロケ支援件数(↑)	↑	令和元年度末	63	件	33	38	— (年度末に集計)	100
	1-13	1-エ	いわて・盛岡広域観光センター運営支援事業	いわて・盛岡広域観光センター来訪者数(↑)	↑	令和元年度末	37,645	人	30,655	43,507	— (年度末に集計)	40,000

■都市圏ビジョン事業一覧

事業分類				指標名	指標	当初値		単位	令和4年度末	令和5年度末	現状値 (令和6年11月末時点)	目標値 (令和7年度)
						設定時期	値					
戦略1	1-14	1-エ	教育旅行誘致事業	教育旅行入込客数(学校数)(→)	→	令和元年度末	1,603	校	2,132	1,809	— (年度末に集計)	1,600
	1-15	1-エ	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ国内大会・合宿や事前キャンプの受入件数(→)	→	令和元年度末	149	件	107	141	186	149
	1-16	1-エ	エコツーリズムの振興	エコツーリズムの振興※該当ページの閲覧件数(↑)	↑	令和2年度末	0	件	0	13	124	100
戦略2	2-1	2-ア	盛岡バスセンター整備事業	盛岡バスセンターからのバス発着便数(→)	→	令和元年度末	1,515	便	1,372	1,081	— (年度末に集計)	1,515
	2-2	2-ア	幹線道路整備事業(津志田白沢線)	津志田白沢線の整備予定区間(第1工区)内の供用延長距離(↑)	↑	令和元年度末	0	m	150	300	300	300
	2-3	2-ア	幹線道路整備事業(市道谷地頭線外1路線(厨川工区))	市道谷地頭線の整備予定区間内の新設歩道(北側)の供用延長距離(↑)	↑	令和元年度末	0	m	0	0	0	435
戦略3	3-1	3-ア	盛岡保健医療圏における救急医療体制に関する検討	盛岡保健医療圏における当番病院の数(小児)(↑)	↑	令和元年度末	4	件	4	4	4	5
	3-2 3-3			盛岡保健医療圏における当番病院の数(第二次)(↑)	↑	令和元年度末	11	件	11	11	11	12
	3-4	3-ア	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム登録延べ件数(↑)	↑	令和元年度末	805	件	1,219	1,634	1,406	1,765
	3-5	3-ア	保育所の広域入所	盛岡市から各広域市町の保育所等へ、各広域市町から盛岡市の保育所等へ入所を希望した児童の内、入所に至った児童の割合(↑)	↑	令和元年度末	74.2	%	74.6	88.1	— (年度末に集計)	77.4
	3-6	3-ア	配偶者暴力相談支援センター広域連携事業	配偶者暴力相談支援センターの相談件数(→)	→	令和元年度末	1,111	件	813	912	485	1,100
				人権出前講座受講者数(→)	→	令和元年度末	659	人	517	781	568	700
				人権出前講座回数(広域7市町)(→)	→	令和元年度末	4	回	1	2	3	4

■都市圏ビジョン事業一覧

資料 2－3

事業分類				指標名	指標	当初値		単位	令和4年度末	令和5年度末	現状値 (令和6年11月末時点)	目標値 (令和7年度)
						設定時期	値					
戦略3	3-7	3-ア	盛岡広域成年後見センター設置運営事業	盛岡広域成年後見センター等における年間延べ相談件数(↑)	↑	令和元年度末	566	件	1,372	1,408	1,124	1,168
				市民後見人養成講座修了者数(累計)(↑)	↑	令和元年度末	147	人	224	240	262	274
	3-8	3-ア	障がい者相談支援事業	障がい者相談支援事業における圏域内の相談件数(→)	→	令和元年度末	5,251	件	5,942	6,146	— (年度末に集計)	5,200
				計画相談支援及び障害児相談支援の利用件数(↑)	↑	令和元年度末	4,248	人	4,748	4,925	— (年度末に集計)	4,803
	3-9	3-ア	スポーツパル推進事業	スポーツパル会員数(↑)	↑	平成30年12月末	527	人	3,027	3,268	3,432	10,000
	3-10	3-ア	もりおか就職面接会等	もりおか就職面談会への参加者数(↑)	↑	平成29年度	305	人	61	34	— (年度末に集計)	310
	3-11	3-ア	若者の就業支援事業	ジョブカフェいわての利用者数(→)	→	令和元年度末	58,171	人	97,444	100,307	— (年度末に集計)	55,000
				もりおか若者サポートステーションに新規登録した盛岡市民のうち就職決定したものの割合(↑)	↑	令和元年度末	58.8	%	70.7	78.0	— (年度末に集計)	58.8
	3-12	3-ア	自然災害等対策推進事業	災害用非常食糧の備蓄数(↑)	↑	令和元年度末	59,370	食	70,603	68,120	68,444	71,630
	3-13	3-ア	震災対応事業	東日本大震災周年行事の参加者数(→)	→	平成30年3月末	2,600	人	1,800	1,830	— (年度末に集計)	2,600
	3-14	3-ア	南岩手山岳遭難対策事業	南岩手山岳遭難隊員の訓練受講者数(→)	→	令和元年度末	64	人	73	81	30	50
	3-15	3-ア	岩手県央へい獣処理協議会事業	岩手県央へい獣処理施設施設利用頭数(→)	→	令和元年度末	825	頭	781	785	785	825
	3-16	3-ア	盛岡広域鳥獣被害防止対策協議会事業	有害捕獲に係る研修受講者数(↑)	↑	令和元年度末	25	人	32	23	20	30

■都市圏ビジョン事業一覧

資料 2－3

事業分類				指標名	指標	当初値		単位	令和4年度末	令和5年度末	現状値 (令和6年11月末時点)	目標値 (令和7年度)
						設定時期	値					
戦略3	3-17	3-イ	インターンシップ事業	インターンシップへの参加事業者数(↑)	↑	令和元年度末	55	企業	58	65	— (年度末に集計)	120
	3-18	3-イ	盛岡広域移住・定住促進事業	移住ツアーの延べ参加者(↑)	↑	令和元年度末	0	人	85	185	— (年度末に集計)	100
	3-19	3-イ	消費者行政の共同実施	圏域の消費生活相談における解決率(↑)	↑	令和元年度末	98.5	%	97.4	98.74	97.95	99
	3-20	3-イ	電子入札等基盤整備事業	入札参加資格申請の電子化率(↑)	↑	令和元年度末	98	%	99.6	100	100	100
	3-21	3-ウ	人材の育成	広域他市町の研修に参加した職員の割合(↑)	↑	令和元年度末	8.7	件	6.9	8.1	7.6	9
	3-22	3-ウ	国保盛岡地区協議会事業	国民健康保険事業に関する会議・研修会の参加者数(↑)	↑	令和元年度末	295	件	169	317	303	332

	No.	事業名	事業概要	R6検討状況	事業実施判断
戦略1	1-ア	地域社会魅力向上・経済の活性化に向けた調査研究事業	人口減少・少子高齢化の進行への対策として、盛岡広域圏の魅力を高める地方創生を推進するため、地方移住、副業、ワークライフバランスの推進や、持続可能な地域経済の維持のための地域のデジタル化に係る取組について調査研究を行う。	未来技術の実装に向けて、今後具体的な連携事業等について専門部会や広域での勉強会を開催し情報交換を行う。	A:引き続き検討を行う。
	1-イ	国際リニアコライダー誘致推進事業	国際リニアコライダーの誘致実現を目指した取組を進めるとともに、外国人居住者の増加や関連企業の集積、新産業の創出など誘致実現後の社会変化に対応するため、情報共有を図りながら広域で連携したまちづくりのあり方を検討する。	ILCの誘致状況を注視しながら、今後専門部会を開催し、連携について検討を継続する。	
戦略2	2-ア	広域的公共交通網の利便性向上に係る調査研究事業	人口減少社会においても公共交通網を維持しつづける観点から、利便性の向上を図り以て利用者を確保するため、交通系ICカードなどの導入やサービスの共通化、電子決済データと車両運行管理データを統合した情報分析による運行経路やダイヤの最適化、異なる公共交通間の乗り継ぎの改善など、MaaS基盤の整備を見据えた調査研究を行う。	ICカードの導入については、本市の区域内で路線バスを運行する3事業者(岩手県交通、岩手県北自動車、JRバス東北)の全路線において、令和5年度までに導入が完了した。 現時点で、電子決済データや車両運行管理データを活用するシステムが構築されていないため、事業者におけるシステム導入状況等を把握しながら、今後もデータ活用による運行改善や割引制度などについて事業者等を交え調査研究を行う。	
	2-ア	北岩手・北三陸横断道路の整備促進	盛岡市以北において、内陸部と三陸沿岸北部を結ぶ路線は、線形不良や隘路区間のほか、急勾配・急カーブが連続する交通の難所であり、移動に多くの時間を要する状況にある。盛岡以北の市町村には、農林水産物など魅力ある地域資源が数多くあるほか、災害時の後方支援拠点に指定されていることなどから、観光や災害対策の面など多分野において地域間連携を加速させ、地方創生や人口減少対策に寄与するため、「北岩手・北三陸横断道路」の整備促進に向けた要望活動を行う。	北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会(盛岡広域の全8市町加入)が主体となり、当該路線の整備促進に向けた要望活動を展開してきたところである。 令和3年6月に「岩手県新広域道路交通ビジョン」「岩手県新広域道路交通計画」が策定され、当該路線は、高規格道路としての役割が期待されるものの、個別路線の調査に着手していない「構想路線」として「(仮称)久慈内陸道路」の名称で位置付けられ、岩手県による路線整備に向けた調査が進められているところであり、本年度は具体的なルートの設定に向けた調査の熟度を高めることとされているものである。 早期に県によるルート選定を終え、事業採択に向けた諸手続きが進められるよう、今後も継続して要望を行う。	
	2-ア	盛岡西廻りバイパス北バイパスの整備促進	盛岡西廻りバイパス北バイパスは、平成26年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、2環状6放射の骨格道路網の重要な幹線道路として位置づけられており、国道46号西廻りバイパスの4車線化も進んでいる。盛岡西廻りバイパス北バイパスの早期整備は、盛岡広域圏における主要幹線である主要地方道盛岡環状線や国道4号盛岡バイパスの渋滞緩和にも繋がり様々な盛岡広域圏のネットワークの強化を図ることができることから、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携した取組を進める。	国道46号西廻りバイパスについては、国土交通省東北地方整備局から令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(東北ブロック版)」に位置付けられたところであり、今後さらに事業進捗が図られるものと考えているが、2車線供用区間の4車線化の整備促進を継続して要望する。 北進計画については、令和3年度から国が開催している盛岡都市圏道路の勉強会の中でも話題として挙げられているが、現時点では構想路線の段階であり具体的なルートも決まっていないと伺っているところであり、今後も国、県、滝沢市と意見交換を行う。	

■都市圏ビジョン事業一覧(今後検討する事業)

資料2-4

	No.	事業名	事業概要	R6検討状況	事業実施判断
戦略2	2-ア	一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進	一般国道4号「盛岡南道路」は、平成26年度に策定した「盛岡広域都市圏道路網基本計画」において、重要な幹線道路に位置づけられている。交通ネットワークの充実により、人やモノの流れの活発化や地域資源や機能の相互利用が見込まれることから、各市町を結ぶ道路ネットワークを形成するため、盛岡広域圏の市町及び国、県と連携し、整備促進に向けた取組を進める。	盛岡南道路については、国において、これまで計画段階評価や都市計画決定を経て、令和4年度に新規事業化され、令和6年度は地質調査や予備設計を実施すると伺っている。盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の整備促進について今後も継続して要望を行う。	A:引き続き検討を行う。
戦略3	3-イ	地方創生SDGs推進調査研究事業	SDGs登録・認証等制度により、SDGsに積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い、地域事業者等の認知度向上や人材確保、多様なステークホルダーの連携による自律的好循環の形成を図り、コロナ禍において新型コロナウイルス感染症によりもたらされた停滞した経済からの回復を図るとともに、地方創生及びSDGsの推進を図る	これまで実施してきた岩手県立大学との共同研究において、制度設計や運用に関する課題が抽出できたほか、盛岡広域事業構想案を取りまとめることができ、一定の成果を上げることができたものの、先行自治体によると、直接成果を見出す段階まで達していないなどの意見があったほか、効果的な制度運用に向けては課題が残されており、SDGsが2030年までの目標であることや費用対効果などを踏まえた上で、事業実施について十分に検討を行う必要があり、発信手法や制度実施のタイミングについて、社会動向を鑑みながら十分な検討が必要なことから、今後も検討する事業として位置づけながら、引き続き情報収集を行う。	
	3-イ	デジタル化推進調査研究事業	Society5.0の進行やコロナ禍における行政のデジタル化の推進について、広域で取り組むことが効果的である分野の選定や協同して取り組む手法について調査研究を行う。	未来技術の実装に向けて、今後具体的な連携事業等について専門部会や広域での勉強会を開催し情報交換を行う。	

第 1 回懇談会での委員意見に対する取組状況について

意見番号	1	分野等	【事業番号1-2】創業支援事業
担 当	立地創業支援室		
意見等			
起業者をフォローしていく事業は行われているか。【菅村委員】			
回答（取組方針）			
・ もりおかSDG s ファンドへ盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町がそれぞれ出資し、起業時だけでなく、起業後の資金調達の支援を行っています。 ・ 盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町で組織する地域人材育成ネットワーク事業実行委員会で当年の起業家塾@もりおかの中で受講生同士が交流する機会を昨年度より設け、その後の継続的な交流のきっかけを作っています。また、本年度からは、起業希望者だけでなく起業間もない方（起業後5年以内）も含めた交流会を令和7年2月に新たに実施する予定です。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
・ 【盛岡市】 : もりおかSDG s ファンドへの出資、CF型ふるさと納税活用による補助金による資金調達支援、起業希望者&起業家交流会の開催。市産業支援センターによる事業スペースの提供（有料）・経営相談。 ・ 【八幡平市】 : 起業志民プロジェクトのスパルタキャンプによる起業家の育成と、事業計画の作成、資金調達の支援に加え、市がファーストユーザーになるなどの事業化に向けた具体的支援を実施。 ・ 【滝沢市】 : もりおかSDG s ファンドへの出資による資金調達支援、起業希望者&起業家交流会の開催。 ・ 【雫石町】 : 空き店舗を活用した起業家に対し、改修費用1/2の補助、家賃1/2を1年補助。商工会青年部による異業種交流会の開催。 ・ 【葛巻町】 : 起業する際の店舗建設・改装費や機器等購入費等の支援制度、起業家育成支援制度。 ・ 【岩手町】 : 岩手町起業チャレンジ応援事業の実施 ・ 【紫波町】 : もりおかSDG s ファンドへの出資による資金調達支援、起業希望者及び起業家交流会の開催。 ・ 【矢巾町】 : もりおかSDG s ファンドへの出資による資金調達支援、起業希望者及び起業家交流会の開催。			

意見番号	2	分野等	【事業番号1-6】 6次産業化の推進
担 当	農政課		
意見等			
ものを作って、加工して売っていかうというくらいの話の中で規模を大きくしすぎた結果、失敗してしまう事例がある。（6次産業化の）進め方などをわからないまま行うことで、せっかく作った事業を潰しかねないことを懸念している。【菅村委員】			
回答（取組方針）			
6次産業化を推進するセミナー等を開催する際には、適正な事業規模等のビジョンを持って進めることが重要である旨を周知する内容も含めて実施してまいります。			

意見番号	3	分野等	【事業番号1-10】 国際観光客誘致促進事業
担 当	観光課		
意見等			
外国人が最も困ることを解決できる事業を実施されているか。例えば、日本語を喋れない外国人をサポートする窓口の設置や、外国人が閲覧しやすいホームページの作成など。【菅村委員】			
回答（取組方針）			
JR盛岡駅の「いわて・盛岡広域観光推進センター」やプラザおでっの「観光文化情報プラザ」では、JNTO認定外国人観光案内所として設置・運営されているほか、一部の市町においては多言語翻訳機能付きのホームページを作成しているところですが、今後におきましても、外国人観光客のニーズ把握に努めるとともに、関係機関と情報共有等を図りながら受入環境整備に努めてまいります。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
・【盛岡市】：多言語翻訳機能付きホームページ、11か国語対応のデジタルマップの運用、外国語版観光パンフレットの作成 ・【八幡平市】：市内事業者向けに、施設案内や飲食メニューの英訳窓口を設置している。また、外国人を接客する従業員向けに、「おもてなしの英語教室」を開催している。 ・【滝沢市】：サポート窓口等の設置はないが、多言語対応の観光サイト「JAPAN in JAPAN」を活用し観光情報を発信している。 ・【雫石町】：観光協会ホームページの多言語化（日本語、英語、韓国語、タイ語、中国語（簡体、繁体））、翻訳機の設置・貸出 ・【葛巻町】：該当なし ・【岩手町】：英語版、中国語（簡体字）版の観光パンフレットを作成し、窓口及びHPへ設置・掲載している。また、HP上にて翻訳機能を提供している。 ・【紫波町】：少数ではあるものの、外国人向けのアンケートの実施、紫波町内の施設をモニター調査し、外国人を受入できる状態かどうか確認を行った。 ・【矢巾町】：現状町単独で取り組んでいるものがないため、広域での取組に追随したい。			

意見番号	4	分野等	【事業番号3-10】 もりおか就職面談会等
担 当	経済企画課		
意見等			
高校生向けの面接会で就職希望者が少ないのはおそらく普通校のことかと思う。この事業自体は形を変える必要があるかどうかは、なんとも言えないが、（事業内容を改めて）検討すべき必要があるのではないか。【菅村委員】			
回答（取組方針）			
盛岡公共職業安定所と連携実施してきた高校生向けの面談会は、就職を希望する高校生のうち一次選考後に未内定の者を支援するため、地元企業とのマッチングの場として開催してきましたが、就職希望者数に対して、盛岡公共職業安定所管内企業の高卒求人の倍率が高く（R6盛岡管内：5.7倍）、超売り手市場の状況にあります。一次選考後の未内定者が少ないことが想定されることから、令和5・6年度は一堂に会した面談会は見送り、未内定者への個別の就職支援に切り替えて行っているものです。 今後につきましても、就職希望者数と求人数などの情勢変化を踏まえながら、支援の方向性について関係機関で検討していきます。また、高校生向けのキャリア形成プログラムやインターンシップ事業等の実施を通じ、高校生の職業観の形成と併せて地元企業の魅力に触れる機会の創出に引き続き取り組んでまいります。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
・【盛岡市】：本ビジョン【事業番号3-11若者の就業支援事業】 【事業番号3-17インターンシップ事業】に掲げる事業 ・【八幡平市】：該当取組なし。 ・【滝沢市】：高校生に限らず、全世代対象に職業相談ができる地域職業相談室を設置しており日々の就労相談を受けている。また、相談室において県社協、シルバー人材センターが定期的に相談会を開催している。市としては、滝沢市商工会青年部が実施する「お仕事マッチング」事業を共催し、補助金を交付している。（対象年齢に限定はしていない）※担当課：観光物産課、企業振興課 ・【雫石町】：該当取組なし。 ・【葛巻町】：「葛巻高校町内企業ガイダンス」を実施している。葛巻高校生に対し、地域の企業等の情報を幅広く提供し、地元企業から直接話を聞くことで就業についての理解を深め、自らの進路を具体的に定めるための機会とするとともに、地域内の企業の高校生の雇用促進と若者の定住促進を図ること。 ・【岩手町】：安定所の求人情報広報、若年者雇用奨励金の交付、新規雇用研修費補助の実施 ・【紫波町】：該当取組なし。 ・【矢巾町】：該当取組なし。			

意見番号	5	分野等	【事業番号3-6】配偶者暴力相談支援センター広域連携事業
担 当	市民協働推進課 男女共同参画推進室		
意見等			
相談が増えている一方、それに伴って新しい課題も増えているといえる。相談員の人数や、専門性、資格の取得などのスキルの問題、非正規の方が増えていくとなると処遇の問題などもでてくる。増えたことによって、現場のしわ寄せになっていないか、対応できているか。またこのことを不断に検証していったほしい。【役重委員 ※意見5～意見8までは同一内容】			
回答（取組方針）			
センターの運営は業務委託により行っていますが、相談員については、相談業務の経験があるか、関係法令等に精通している者を配置することとしています。受託者においては、相談員に対し、研修等自己研鑽の機会の確保等によりスキルアップの支援を行っているほか、勤務年数に応じた処遇の改善等に努めております。業務委託にあたっては、受託者と意思疎通を図りながら、業務に必要な対応ができるよう、内容を毎年検証してまいります。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
・【盛岡市】：センター受託者と密に連絡を取り課題を共有しながら事業を進めている。 ・【八幡平市】：女性相談支援員を1名配置し相談・支援業務を行っており、センターや各市町とも情報共有・連携を図りながら多様化する相談への対応に努めている。相談員の処遇については他職種との報酬差別化を図っているほか、給与改定にも対応している。 ・【滝沢市】：他の構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や啓発にあたっている。 ・【雫石町】：他の構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や啓発にあたっている。 ・【葛巻町】：構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や意識啓発にあたっている。 ・【岩手町】：他の構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や啓発にあたっている。 ・【紫波町】：他の構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や啓発にあたっている。 ・【矢巾町】：他の構成市町と情報共有、連携しながら被害者支援や啓発にあたっている。			

意見番号	6	分野等	【事業番号3-7】盛岡広域成年後見センター設置運営事業
担 当	長寿社会課		
意見等			
相談が増えている一方、それに伴って新しい課題も増えているといえる。相談員の人数や、専門性、資格の取得などのスキルの問題、非正規の方が増えていくとなると処遇の問題などもでてくる。増えたことによって、現場のしわ寄せになっていないか、対応できているか。またこのことを不断に検証していったほしい。【役重委員 ※意見5～意見8までは同一内容】			
回答（取組方針）			
受託者と密に連携を図り、事業運営に係る要望等を把握していきたいと考えております。			

意見番号	7	分野等	【事業番号3-11】若者の就業支援事業
担 当	経済企画課		
意見等			
相談が増えている一方、それに伴って新しい課題も増えているといえる。相談員の人数や、専門性、資格の取得などのスキルの問題、非正規の方が増えていくとなると処遇の問題などもでてくる。増えたことによって、現場のしわ寄せになっていないか、対応できているか。またこのことを不断に検証していったほしい。【役重委員 ※意見5～意見8までは同一内容】			
回答（取組方針）			
ジョブカフェいわて運営事業は、岩手県が設置する「ジョブカフェいわて」にカウンセラー（有資格者）を配置し、相談対応等を行っているものですが、相談の増加等による体制へ影響の有無等について定時に開催する関係行政機関が集う運営会議において、情報交換を行っているところです。 盛岡地域若者サポートステーション運営事業は、国が設置する盛岡地域若者サポートステーションに、有資格の臨床心理士によるカウンセリングの実施や居場所（フリースペース）の開設などを行っているものであり、同様に追加で事業を行っている岩手県とともに、毎月実施される報告会議の場において、業務実績と併せ相談対応の体制等について定期的に把握しております。 今後におきましても、相談内容の多様化等により対応が難しいケースなども想定されることから、受託事業者の過度な負担となっていないかなどの状況把握を行い、関係行政機関で情報共有を図りながら、必要な対応を検討してまいります。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
・【盛岡市】：本ビジョン【事業番号3-10もりおか就職面談会等】【事業番号3-17インターンシップ事業】に掲げる事業 ・【八幡平市】：該当取組なし。 ・【滝沢市】：高校生に限らず、全世代対象に職業相談ができる地域職業相談室を設置しており日々の就労相談を受けている。また、相談室において県社協、シルバー人材センターが定期的に相談会を開催している。 市としては、滝沢市商工会青年部が実施する「お仕事マッチング」事業を共催し、補助金を交付している。（対象年齢に限定はしていない）担当課：観光物産課、企業振興課 ・【雫石町】：該当取組なし。 ・【葛巻町】：くずまき雇用サポートセンター設置。無料職業紹介や相談できる窓口を設け、求職者の就業支援や町内企業の魅力発信を行っていること。 ・【岩手町】：該当取組なし。 ・【紫波町】：該当取組なし。 ・【矢巾町】：該当取組なし。			

意見番号	8	分野等	【事業番号3-19】消費者行政の共同実施
担 当	消費生活センター		
意見等			
相談が増えている一方、それに伴って新しい課題も増えているといえる。相談員の人数や、専門性、資格の取得などのスキルの問題、非正規の方が増えていくとなると処遇の問題などもでてくる。増えたことによって、現場のしわ寄せになっていないか、対応できているか。またこのことを不断に検証していったほしい。【役重委員 ※意見5～意見8までは同一内容】			
回答（取組方針）			
消費生活相談員の確保に関しては、県内では新規の資格（国家資格）取得者や任用を希望する方が少なく、相談員確保に苦労している状況です。全国的にはほとんどの相談員が会計年度任用職員であり、国における制度的な見直しの動きはないものの、このような状況を踏まえて、広域での対応を拡大することや、都道府県単位での運用といった検討が行われています。 また、相談員の専門性を高め、最新の相談にも対応できるような環境確保のために、国民生活センターの研修、消費生活関連団体主催の研修、県民生活センターや当センター主催の研修などへの受講の機会を設け、研修の充実を図っています。 なお、相談には助言や情報提供だけでなく、相談者と事業者との話し合いによる解決を図るあっせんも行っています。あっせんの場合は来所を必須としていますが、高齢者や障がい者など移動に制限がある方は「来所が困難だが、居住地の役場や近くの公民館までなら行ける」といったケースもあるため、各市町の協力により出張相談会としてあっせん相談を行っているほか、将来的なオンライン相談の実施を検討しています。			
参考（各市町の関連する取組状況等）			
各市共通して以下内容に取り組んでいます。 1 情報交換会・研修会の開催 消費者行政に関する情報収集・共有、情報交換、業務に必要な知識の習得等のための研修の実施 2 相談業務における連携 各市町間での相談案件の共同処理、情報共有等を随時実施、盛岡市センターの法律相談の活用 3 啓発事業の連携 出前講座の共同開催、共同キャンペーンの実施 4 出張相談会の実施 現在八幡平市と岩手町で設定			

第3期みちのく盛岡広域都市圏ビジョン策定スケジュールについて

資料 4

■令和7年

	6			7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
次期都市圏ビジョン策定				成果と課題の分析、構成案									素案								
				事務検討会議	調整	ビジョン懇談会	調整	首長懇談会					事務検討会議	調整	ビジョン懇談会	調整	首長懇談会				
				7/17(木) 1400-		7月下旬～ 8月上旬		8/20(水) 1400-					10/16(木) 1400-		10月下旬～ 11月上旬		11/26(水) 1400-				
新規・拡充事業	新規・拡充事業の検討・協議 (8市町担当課) ↓ 事業調書作成(盛岡市)																		予算要求	→	財政担当ヒア

■令和8年

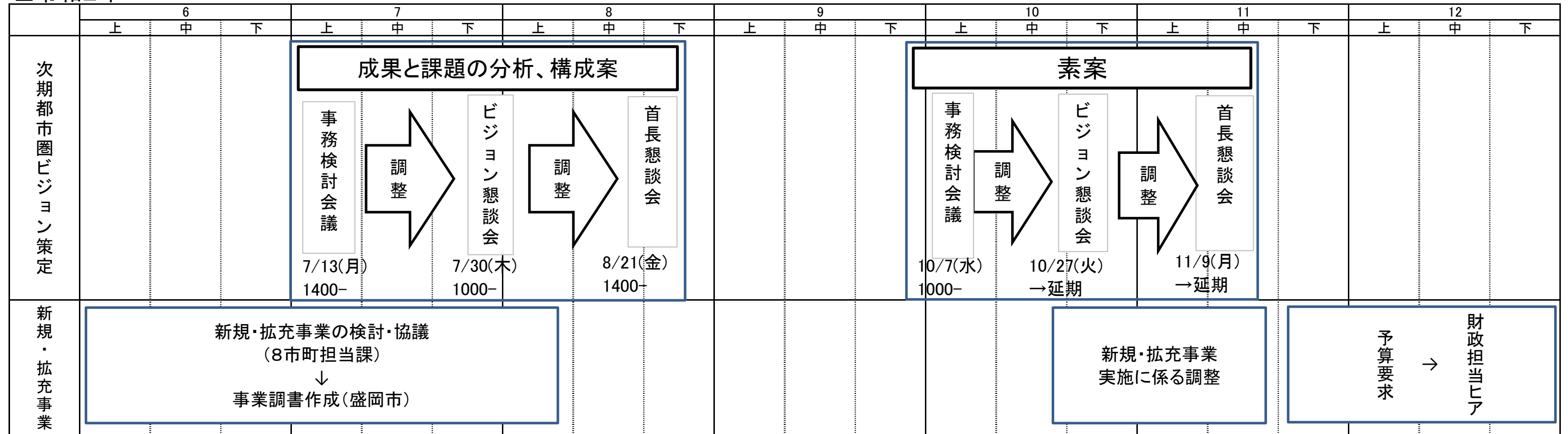
	1			2			3		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
次期都市圏ビジョン策定				成案			パブコメ		
				事務検討会議	調整	ビジョン懇談会	調	首長懇談会	策定
				1/15(木) 1430-		1月下旬		2/2(月) 1400-	
新規・拡充事業	財政担当調整 → 首長査定 → 新規事業掲載								

■第3期ビジョン策定に向けた対応について

- ・概ね令和2年度と同様のスケジュールを想定。
- ・市町間における新規・拡充事業の検討・協議を進め、第1回首長懇談会において新規・拡充事業を決定、第2回首長懇談会でビジョンの素案を協議する。首長意見等を反映し、第3回首長懇談会で再度協議し、成案とする。(ビジョン懇談会も同様に3回開催)

■令和2年

(参考)第2期みちのく盛岡広域都市圏ビジョン策定スケジュール



■令和3年

